

平成 30 年度 商店街実態調査
報告書
(概要版)

平成31年3月
横浜市 経済局

目次

第1章 調査の概要

- 1. 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 調査の実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第2章 調査結果

- 1. 各設問の集計結果と分析・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - (1) 商店街の形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
 - (2) 商店街の構成業種と不足業種・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - (3) 商店街活動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (4) 空き店舗について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
 - (5) 商店街施設の保全・維持管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - (6) 来街者数の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
 - (7) 外国人来街者への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
 - (8) 景況感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

参考資料

- 資料1. 調査票・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

少子高齢社会が進展し、地域におけるコミュニティの重要性が増している現在において、身近な買い物の場である商店街は、地域住民の交流の場を提供する「地域コミュニティの担い手」としての役割への期待が大きくなってきている。本調査は、市内の商店街団体の組織や活動の状況、空き店舗の状況や抱えている課題等を定期的に把握し、今後の商店街振興施策の基礎資料とするものである。

2. 調査の実施概要

(1) **調査対象** (一社)横浜市商店街総連合会加盟の260商店街ほか計285商店街

(2) **調査方法** 郵送(配付・回収)によるアンケート方式

(3) **調査期間** 平成30年10月～11月

(4) **調査票配付数・回収数**

調査票配付数	有効回収数	有効回収率
285	231	81.1%

(5) **調査票の見方**

- ① 図表表中のnは該当設問での回答者数を表す。
- ② 百分比はnを100%として算出し、少数第2位を四捨五入して少数第1位まで示している。このため、百分比の合計が100%に満たない場合や、上回る場合等がある。
- ③ 本調査の分析に際し、平成24年度、平成27年度に実施した「商店街実態調査」と比較が可能なものに関し、経年比較を行っている。本文中『平成24年度調査』『平成27年度調査』と表記のあるものについては、この調査を示している。

第2章 調査結果

1. 各設問の集計結果と分析

(1) 商店街の形態

商店街が立地する区 ※今回アンケートに回答した商店街を示した。

【全体】

回答のあった商店街を立地する区別にみると、最も多いのは「中区」(35商店街)であった。次いで「鶴見区」(22商店街)、「神奈川区」(19商店街)、「西区」(17商店街)の順となった。

	アンケートに 回答した商店街
青葉区	12
旭区	12
泉区	9
磯子区	11
神奈川区	19
金沢区	13
港南区	7
港北区	16
栄区	7
瀬谷区	8
都筑区	6
鶴見区	22
戸塚区	10
中区	35
西区	17
保土ヶ谷区	14
緑区	6
南区	7
合計	231

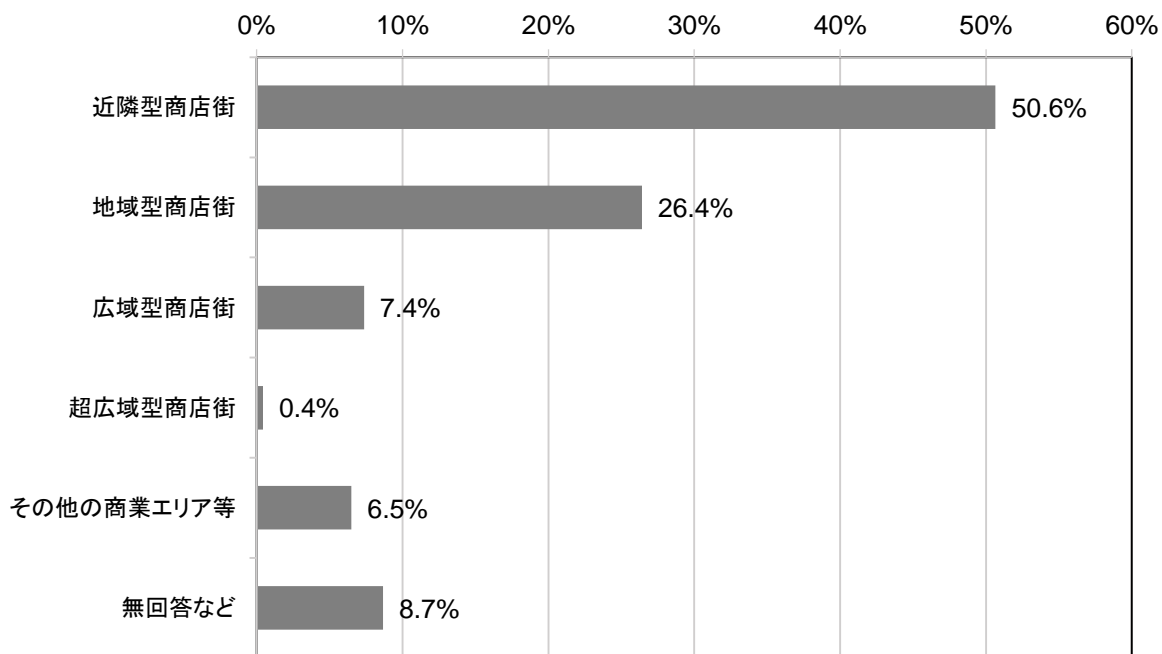
図表1 商店街の立地する区[全体]

問1 貴商店街のタイプは次の5つのうち、いずれに該当しますか。

- 1. 近隣型商店街 : 主に近隣住民が徒歩、自転車で来街して日常の買い物をする商店街
- 2. 地域型商店街 : 鉄道駅に近接し、主に区内の住民が徒歩、自転車、バス等で来街して日常の買い物をする商店街
- 3. 広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、百貨店、量販店等を含む大型店があり、主に電車や自動車による区内外からの来街者が多い商店街
- 4. 超広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、市外も含む遠距離からの来街者が多い商店街
- 5. その他の商業エリア等 : 上記1～4にあてはまらない商業エリア、複数の要素を持つ商業エリア等

【全体】

「近隣型商店街」が最も多く、50.6%であった。次いで「地域型商店街」(26.4%)、「広域型商店街」(7.4%)、「その他の商業エリア」(6.5%)の順となった。



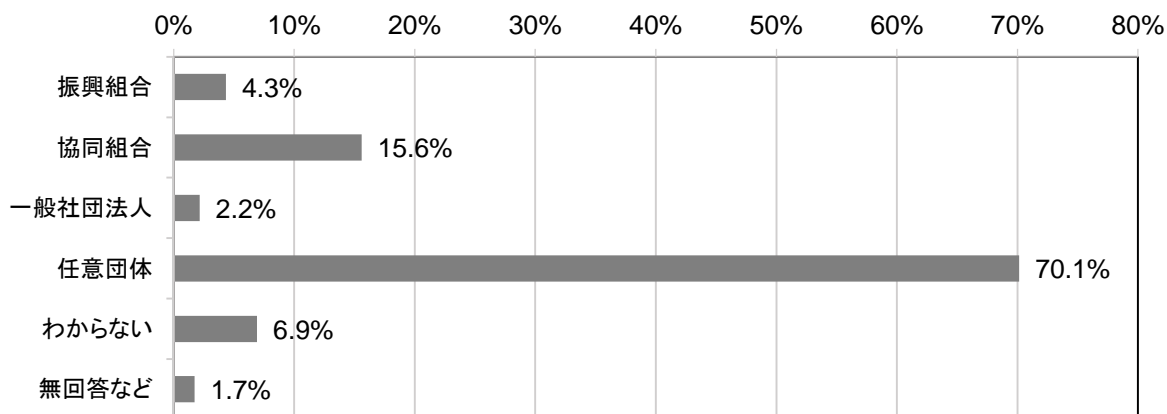
n=231

図表2 商店街のタイプ[全体]

問2 貴商店街の組織形態は次の5つのうち、いずれに該当しますか。

【全体】

「任意団体」が最も多く、70.1%であった。法人化されている商店街では「協同組合」(15.6%)が最も多く、「振興組合」(4.3%)、「一般社団法人」(2.2%)の順となった。



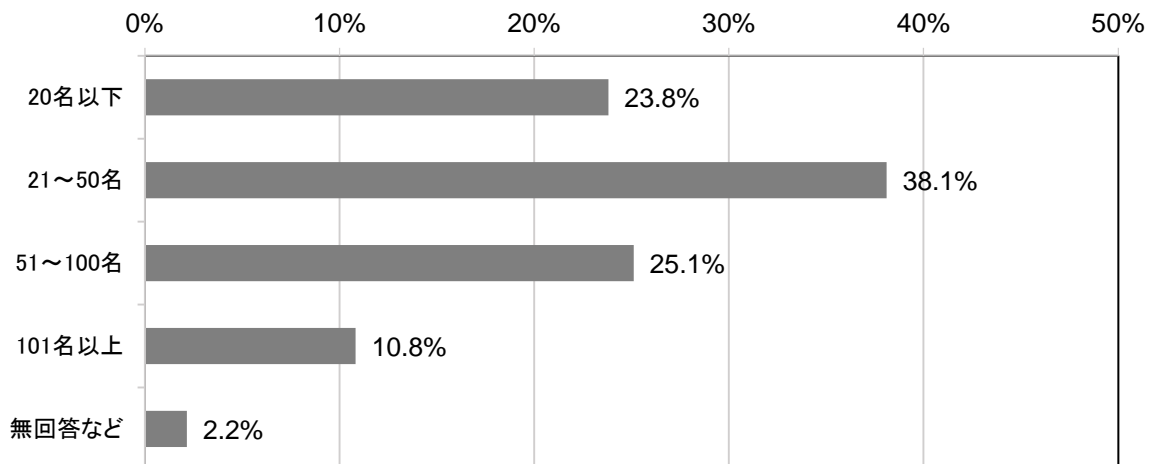
図表3 商店街の組織形態[全体]

n=231

問3 貴商店街の会員数は何名ですか。

【全体】

「21～50名」が最も多く、38.1%であった。次いで「51～100名」(25.1%)、「20名以下」(23.8%)の順となった。



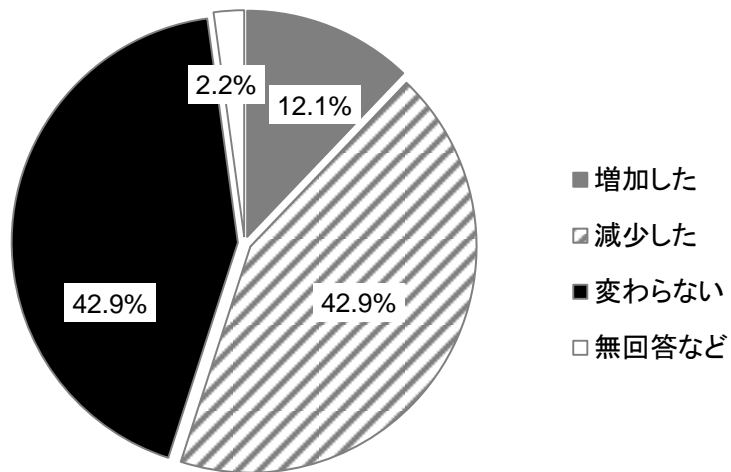
図表4 商店街の会員数[全体]

n=231

問3-2 3年前と比べて、商店街への加盟率に変化がありましたか。

【全体】

商店街への加盟率の変化は「減少した」「変わらない」が共に42.9%であった。また「増加した」は12.1%であった。

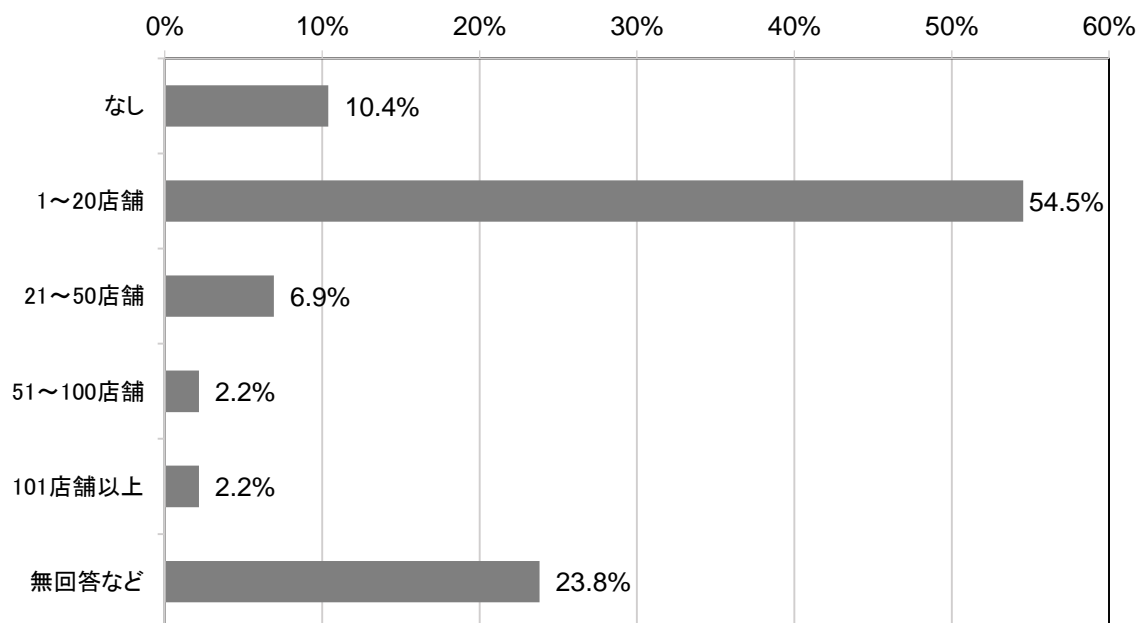


図表5 商店街への加盟率の変化[全体]

問4 貴商店街に加盟していない店舗の状況をご記入ください。

【全体】

加盟していない店舗は「1~20店舗」が最も多く、54.5%であった。



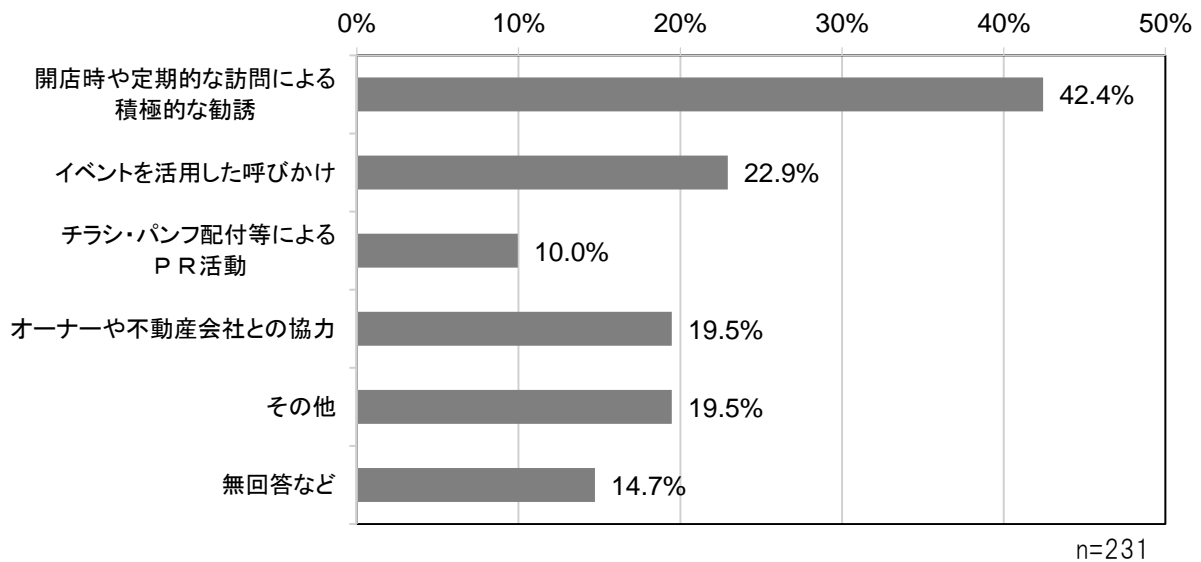
n=231

図表6 非加盟店の有無[全体]

問5 貴商店街ではどのような加盟勧誘活動を行っていますか。

【全体】

加盟店の勧誘活動の手段として「開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘」(42.4%)が最も多く、次いで「イベントを活用した呼びかけ」(22.9%)、「オーナーや不動産会社との協力」(19.5%)の順となった。



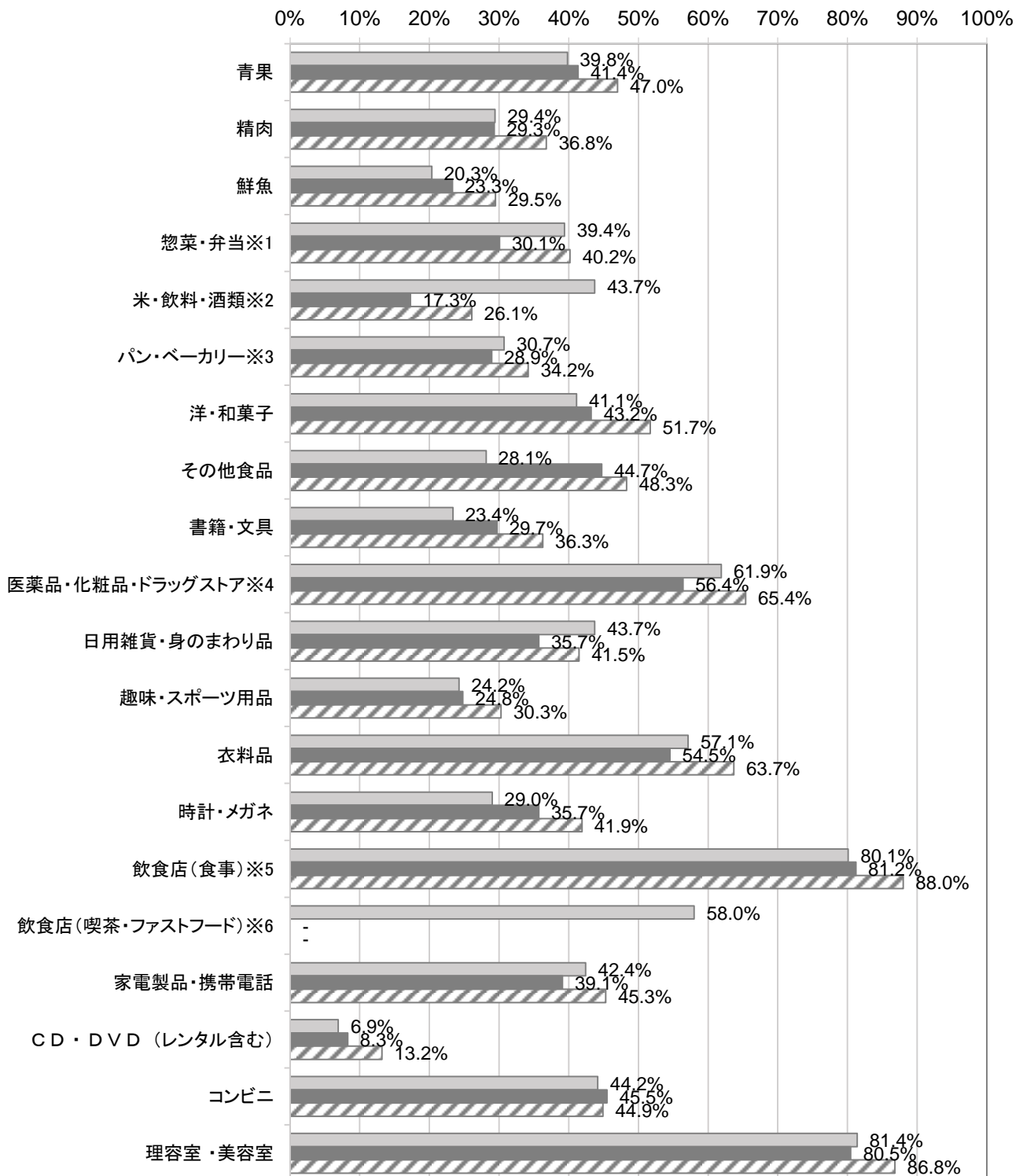
図表7 加盟勧誘活動[全体]

(2) 商店街の構成業種と不足業種

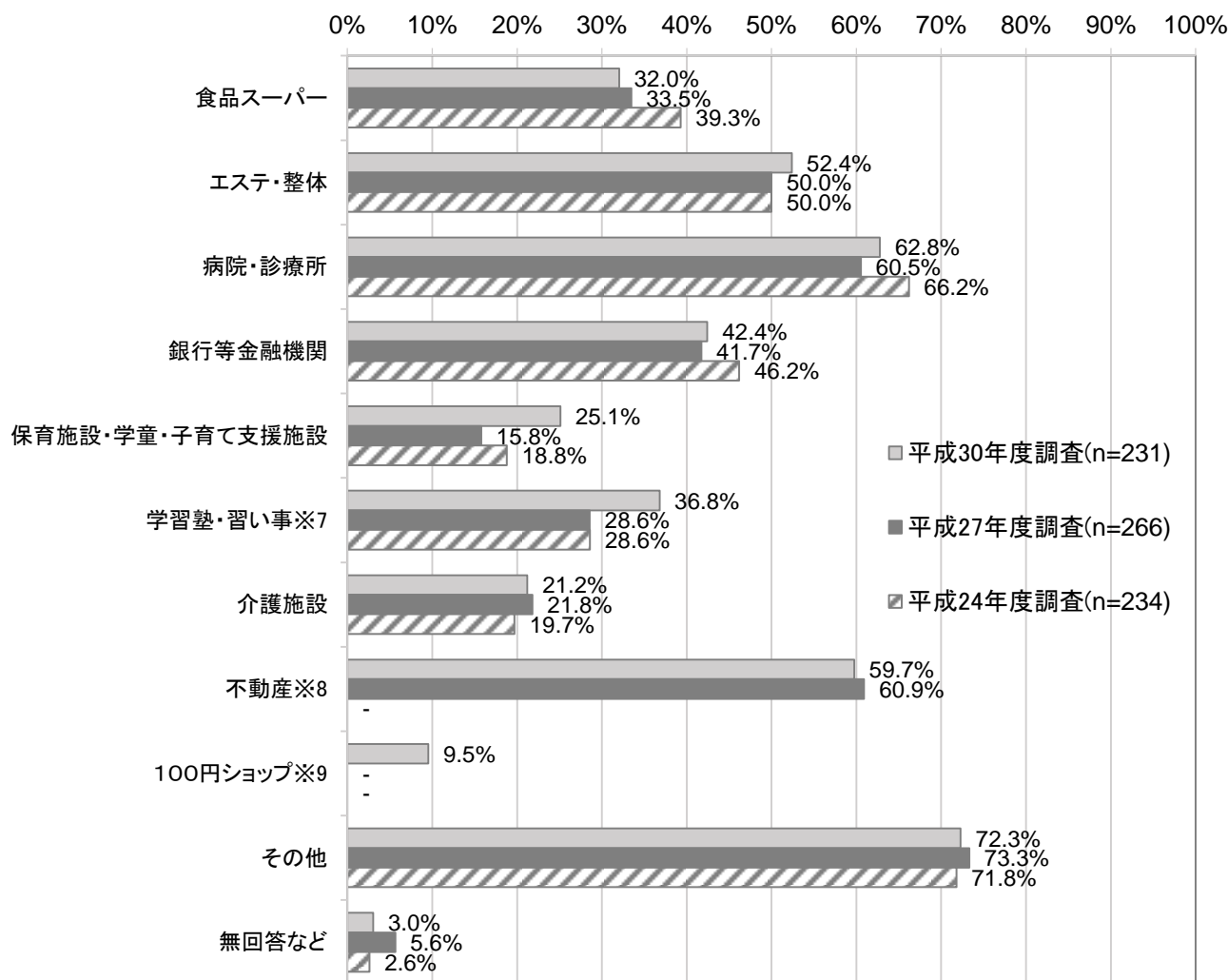
問6 現在、貴商店街を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きな違いはみられず、全体として減少傾向にある。その中でも「鮮魚」「洋・和菓子」「書籍・文具」「時計・メガネ」の減少が目立つ。一方で「保育施設・学童・子育て支援施設」「学習塾・習い事」は平成30年度では増加している。



[次ページに続く]



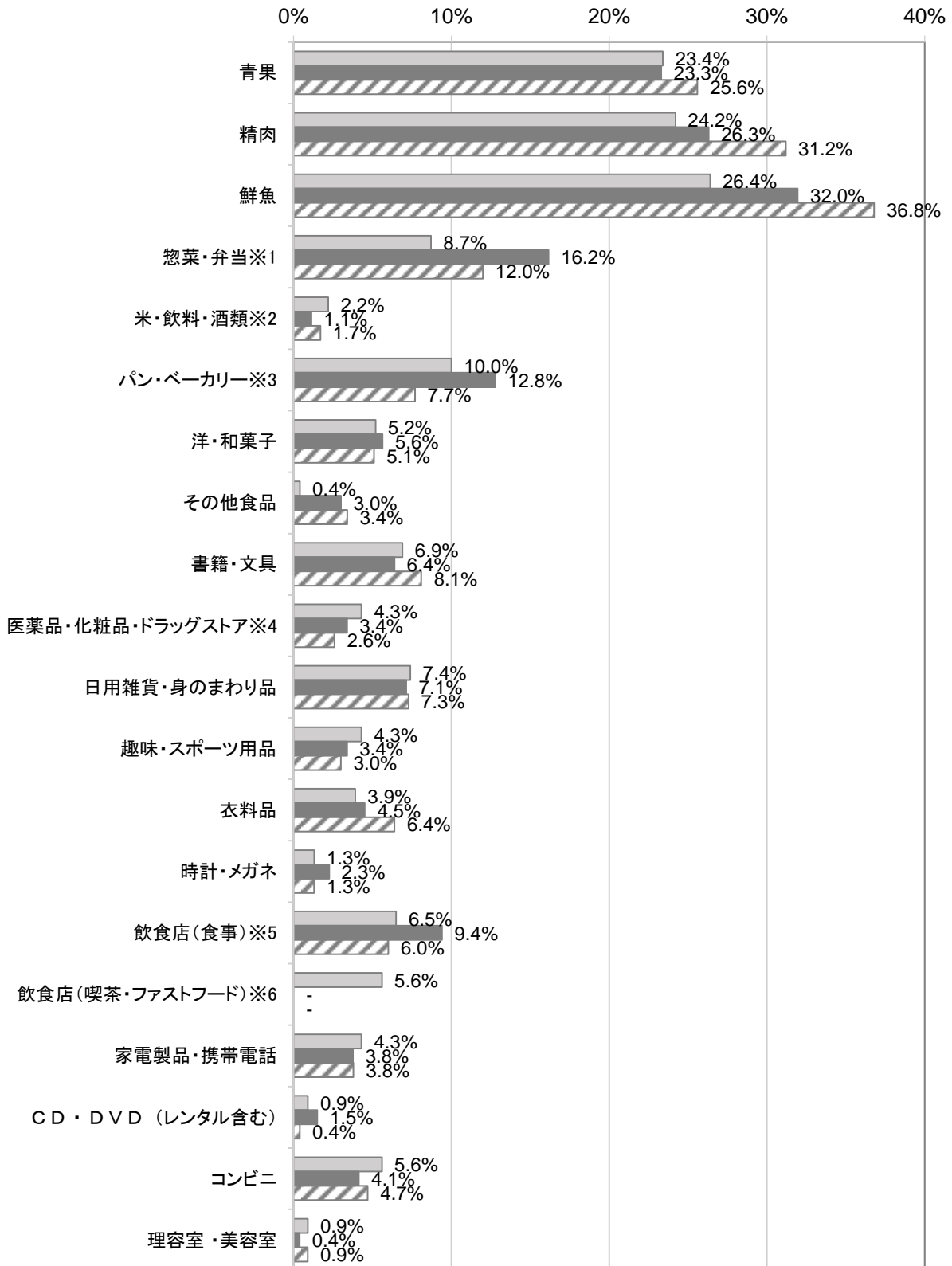
図表8 構成業種[経年比較]

- ※1 平成24年度、平成27年度調査での「惣菜」は平成30年度では「惣菜・弁当」として計上した。
- ※2 平成24年度、平成27年度調査での「米穀」は平成30年度では「米・飲料・酒類」として計上した。
- ※3 平成24年度、平成27年度調査での「パン」は平成30年度では「パン・ベーカリー」として計上した。
- ※4 平成24年度、平成27年度調査での「医療品・化粧品」は平成30年度では「医療品・化粧品・ドラッグストア」として計上した。
- ※5 平成24年度、平成27年度調査での「飲食店」は平成30年度では「飲食店(食事)」として計上した。
- ※6 「飲食店(喫茶・ファストフード)」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。
- ※7 平成24年度、平成27年度調査での「学習塾」は平成30年度では「学習塾・習い事」として計上した。
- ※8 「不動産」の選択肢は、平成27年度調査で新設した。
- ※9 「100円ショップ」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

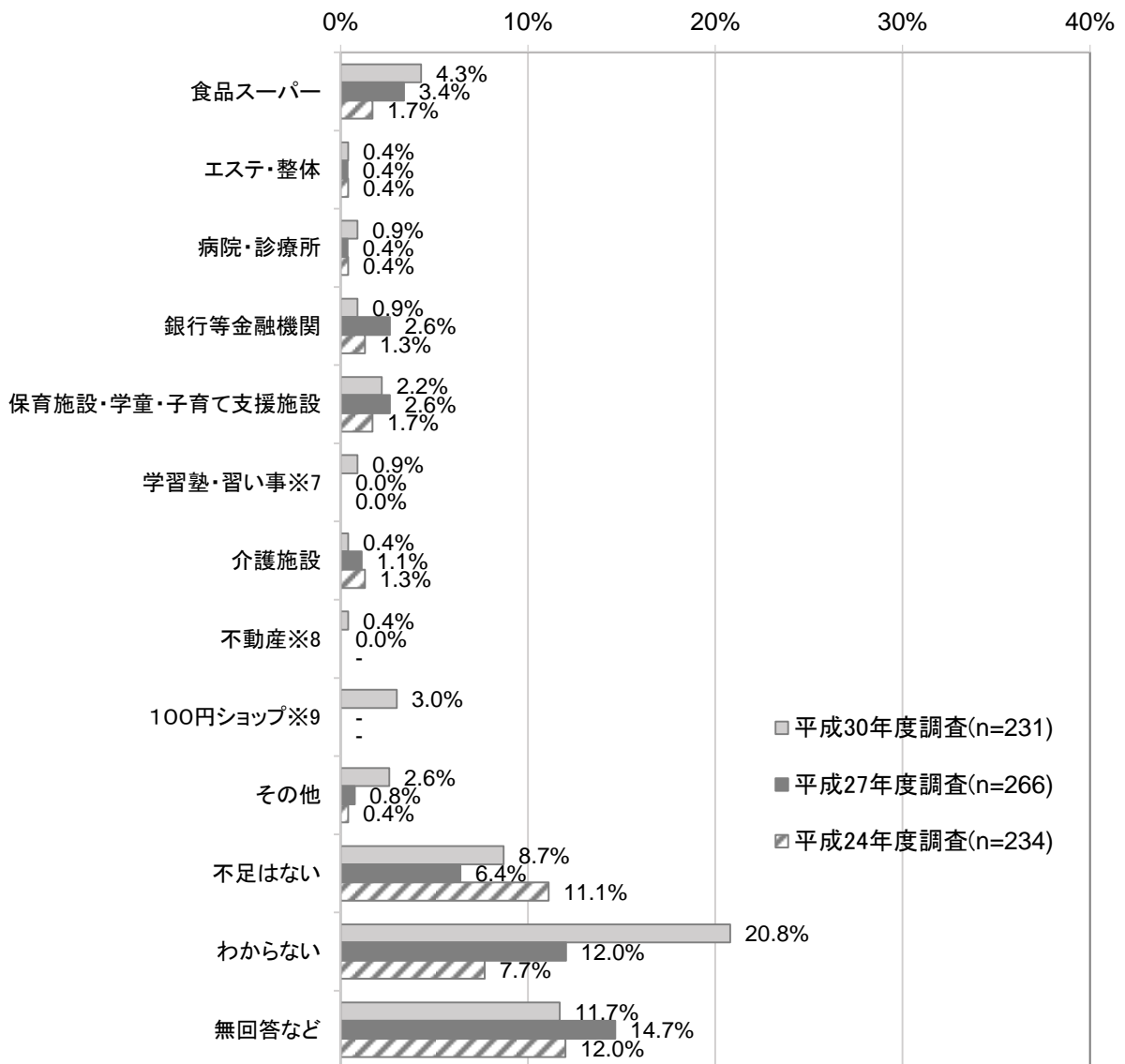
問7 現在、貴商店街に不足していると感じている業種・業態は何ですか。

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きな違いはみられなかったが、「精肉」「鮮魚」の減少が目立つ。「惣菜・弁当」も平成27年度に比べ、7.5ポイント減少している。



[次ページに続く]



図表9-1 不足している業種[経年比較]

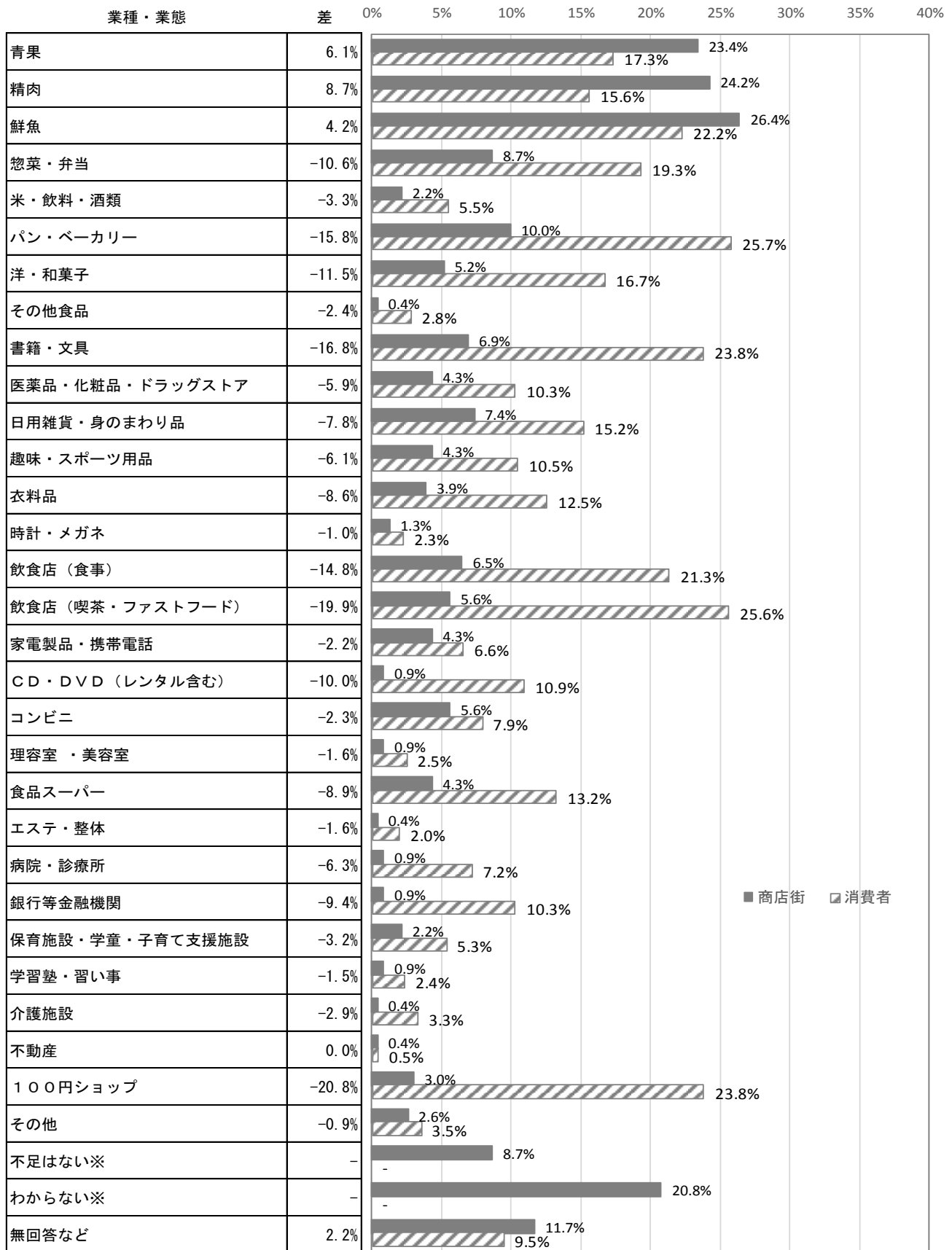
- ※1 平成24年度、平成27年度調査での「惣菜」は平成30年度では「惣菜・弁当」として計上した。
- ※2 平成24年度、平成27年度調査での「米穀」は平成30年度では「米・飲料・酒類」として計上した。
- ※3 平成24年度、平成27年度調査での「パン」は平成30年度では「パン・ベーカリー」として計上した。
- ※4 平成24年度、平成27年度調査での「医療品・化粧品」は平成30年度では「医療品・化粧品・ドラッグストア」として計上した。
- ※5 平成24年度、平成27年度調査での「飲食店」は平成30年度では「飲食店(食事)」として計上した。
- ※6 「飲食店(喫茶・ファストフード)」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。
- ※7 平成24年度、平成27年度調査での「学習塾」は平成30年度では「学習塾・習い事」として計上した。
- ※8 「不動産」の選択肢は、平成27年度調査で新設した。
- ※9 「100円ショップ」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

【消費者購買行動意識調査との比較】

平成30年度実施の『消費者購買行動意識調査』(問3「商店街に開店してほしい、もっと増えてほしいお店」と比較した。

商店街が最も不足していると感じている業種・業態は「鮮魚」(26.4%)であるのに対して、消費者が商店街に開店してほしい、もっと増えてほしいと思う業種・業態は「パン・ベーカリー」(25.7%)であった。また、商店街と消費者のポイント差は、「精肉」は8.7%、「100円ショップ」が-20.8%となった。

※問7「貴商店街に不足していると感じている業種・業態」と『消費者購買行動意識調査』(問3「商店街に開店してほしい、もっと増えてほしいお店」)を比較し、差として現した。消費者ニーズが、商店街が不足していると感じている業種・業態を上回るとマイナス表記となる。



図表9-2 不足している業種[消費者購買行動意識調査との比較]

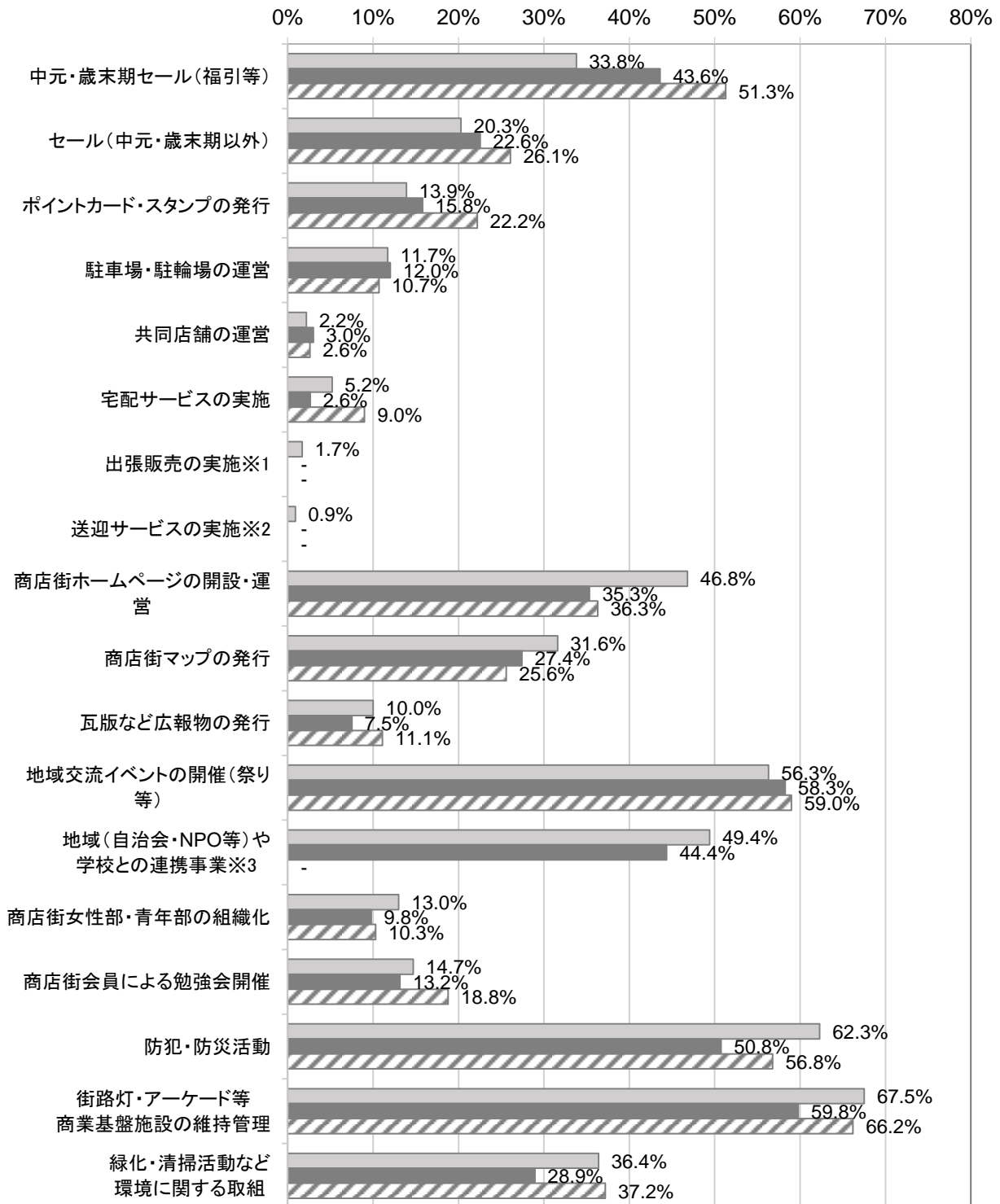
※「消費者購買行動意識調査」には回答選択肢がない。

(3) 商店街活動について

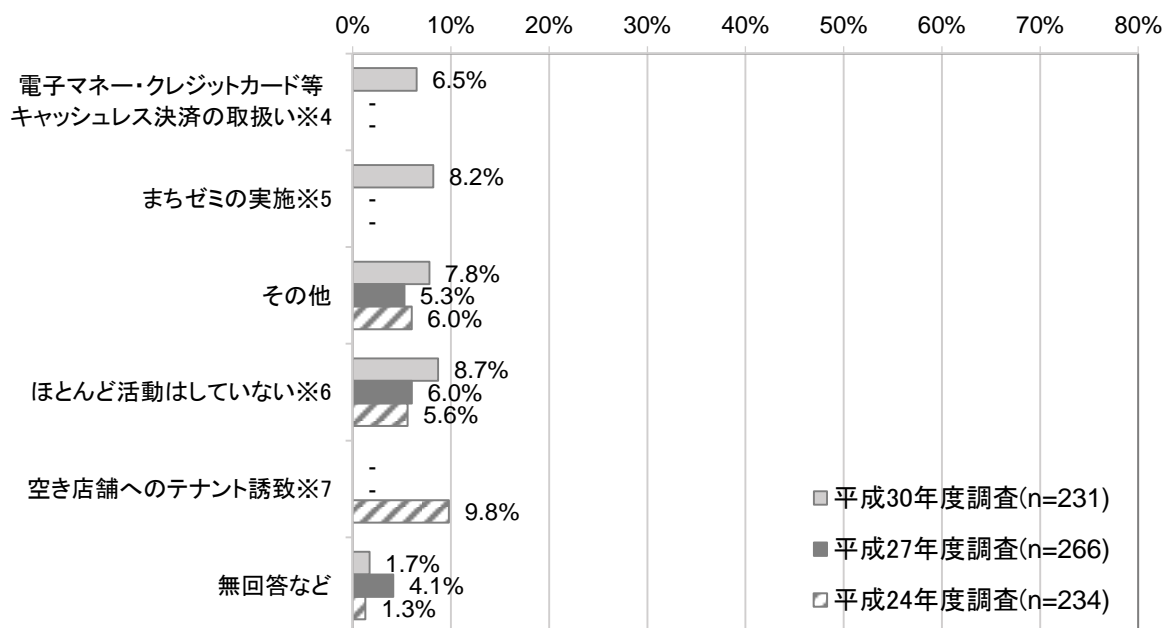
問8 貴商店街の活動内容はどのようなものですか。

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、傾向に大きく変わりはないが、「中元・歳末期セール(福引等)」「ポイントカード・スタンプの発行」は減少傾向にある。一方で「商店街ホームページの開設・運営」は増加傾向にある。



[次ページに続く]



図表10 商店街の活動内容[経年比較]

※1 「出張販売の実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※2 「送迎サービスの実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※3 「地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業」の選択肢は平成27年度調査で新設した。

※4 「電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

※5 「まちゼミの実施」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。

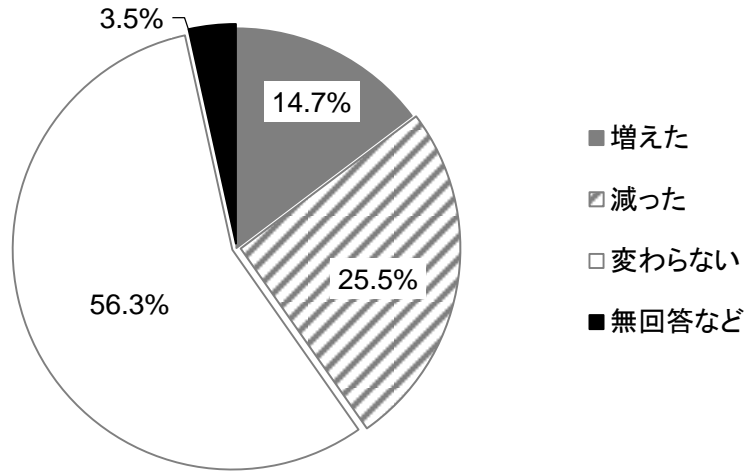
※6 平成27年度調査の「活動はしていない」、平成24年度調査の「特にない」の選択肢は、平成30年度では「ほとんど活動はしていない」として計上した。

※7 「空き店舗へのテナント誘致」の選択肢は、平成24年度調査のみの選択肢である。

問9 最近3年で、商店街活動に積極的に参加する会員は増えましたか。

【全体】

商店街活動に参加する会員は「変わらない」が56.3%で、「減った」が25.5%であった。

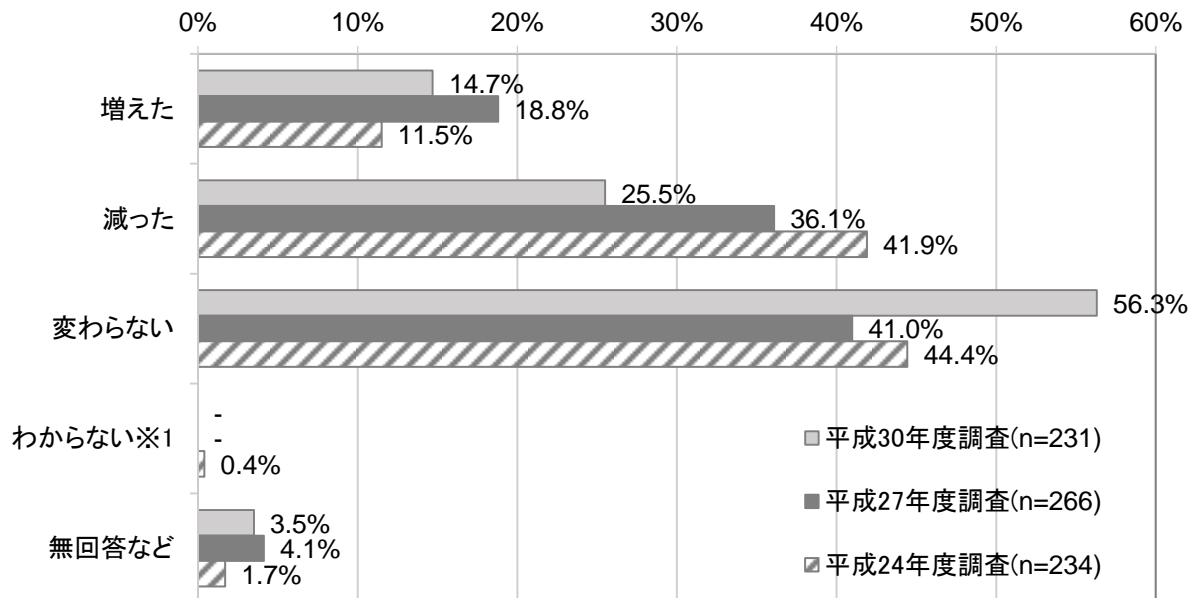


図表11-1 商店街活動に参加する会員の増減[全体]

n=231

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、「減った」が減少傾向にあり、「変わらない」が平成27年度調査より15.3ポイント上昇している。



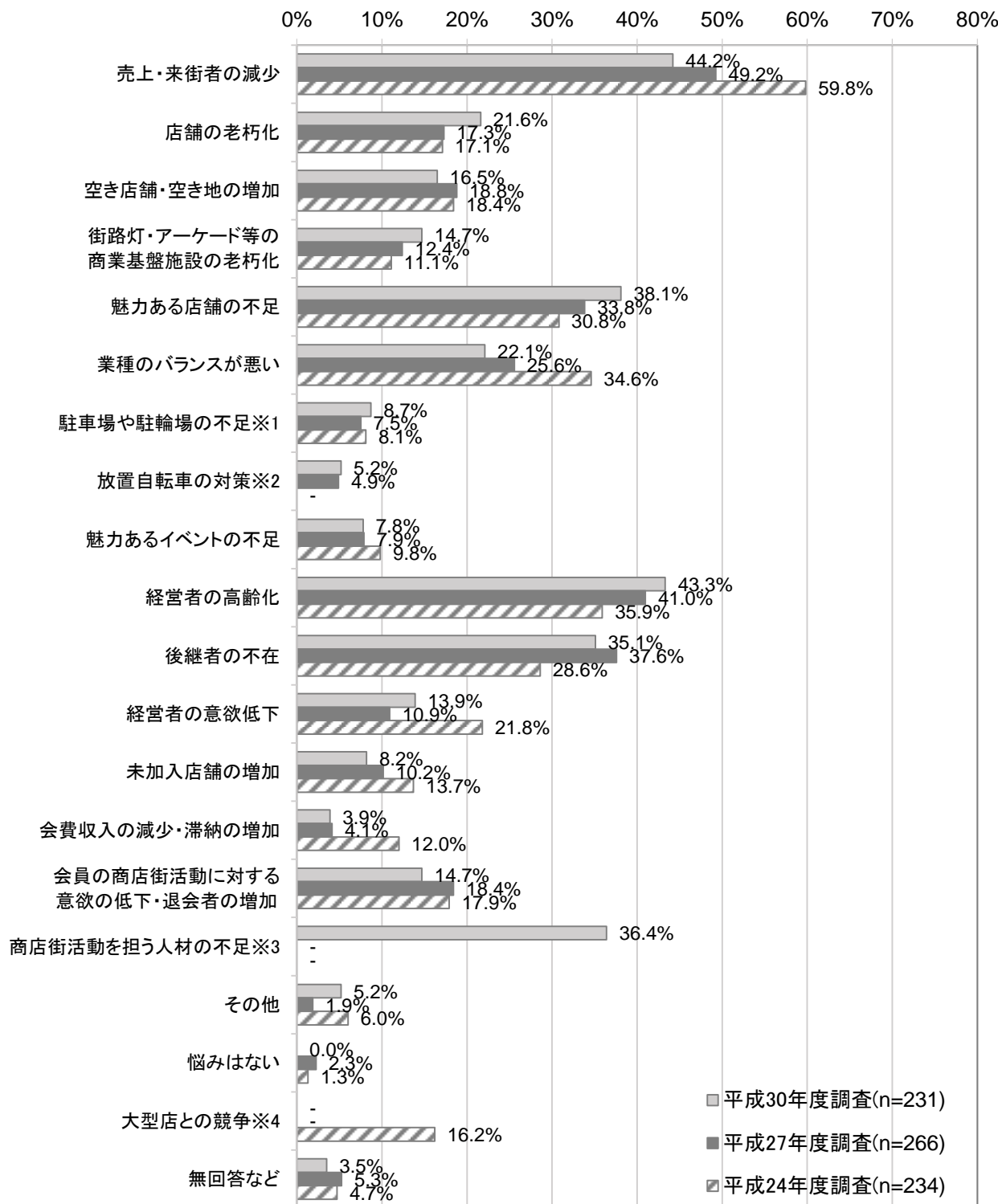
図表11-2 商店街活動に参加する会員の増減[経年比較]

※1 平成24年度調査には「わからない」の選択肢があった。

問 10 現在、貴商店街ではどのような悩みがありますか。

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、「売上・来街者の減少」「業種のバランスが悪い」が減少している。一方、「店舗の老朽化」「魅力ある店舗の不足」「経営者の高齢化」は増加傾向にある。



図表12 商店街における悩み[経年比較]

- ※1 平成24年度、平成27年度調査の「車社会への対応不足」の選択肢は、平成30年度では「駐車場や駐輪場の不足」として計上した。
- ※2 「放置自転車の対策」の選択肢は平成27年度調査で新設した。
- ※3 「商店街活動を担う人材の不足」の選択肢は、平成30年度調査で新設した。
- ※4 「大型店との競争」の選択肢は、平成24年度調査のみの選択肢である。

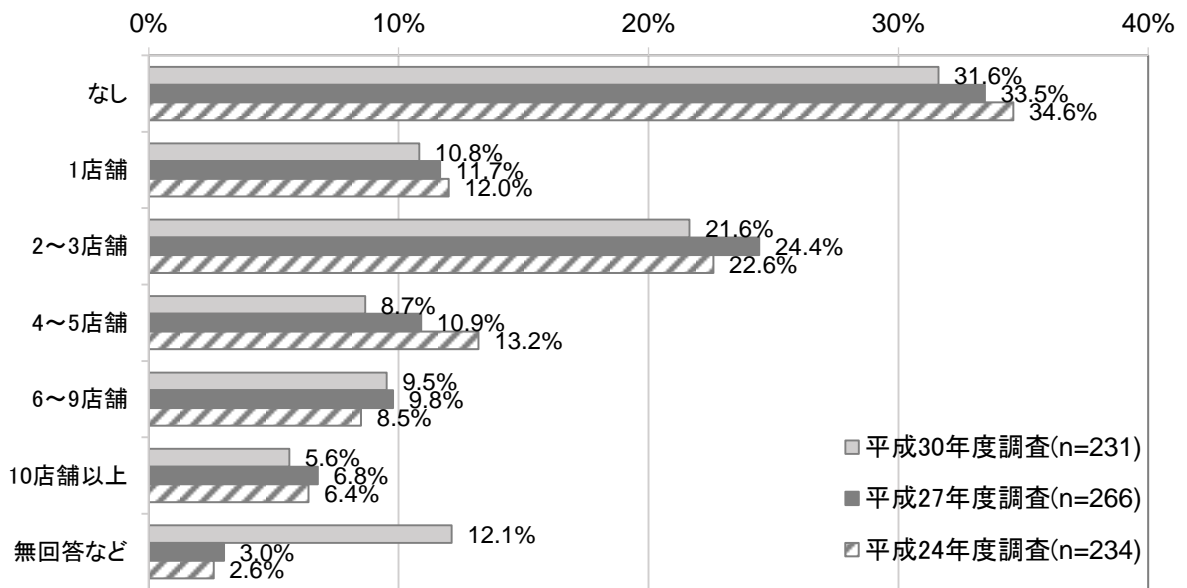
(4) 空き店舗について

問 11 貴商店街における空き店舗*は何店舗ですか。

※空き店舗とは… 商店街の主要な通りの建物の1階、2階部分（商業用ビル等、多階層にわたって商店街エリアが広がっている場合は、建物の1階、2階には限らない）に位置し、以前、店舗として利用された建物で、廃業・移転等により現在は空き店舗となっているもの。
上記のうち、駐車場・一般住宅・空き地になった場合は除く。（次の利用者が現れるまで暫定的に車庫や物置等として使用しているものは含む。）

【経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きな違いはみられなかった。

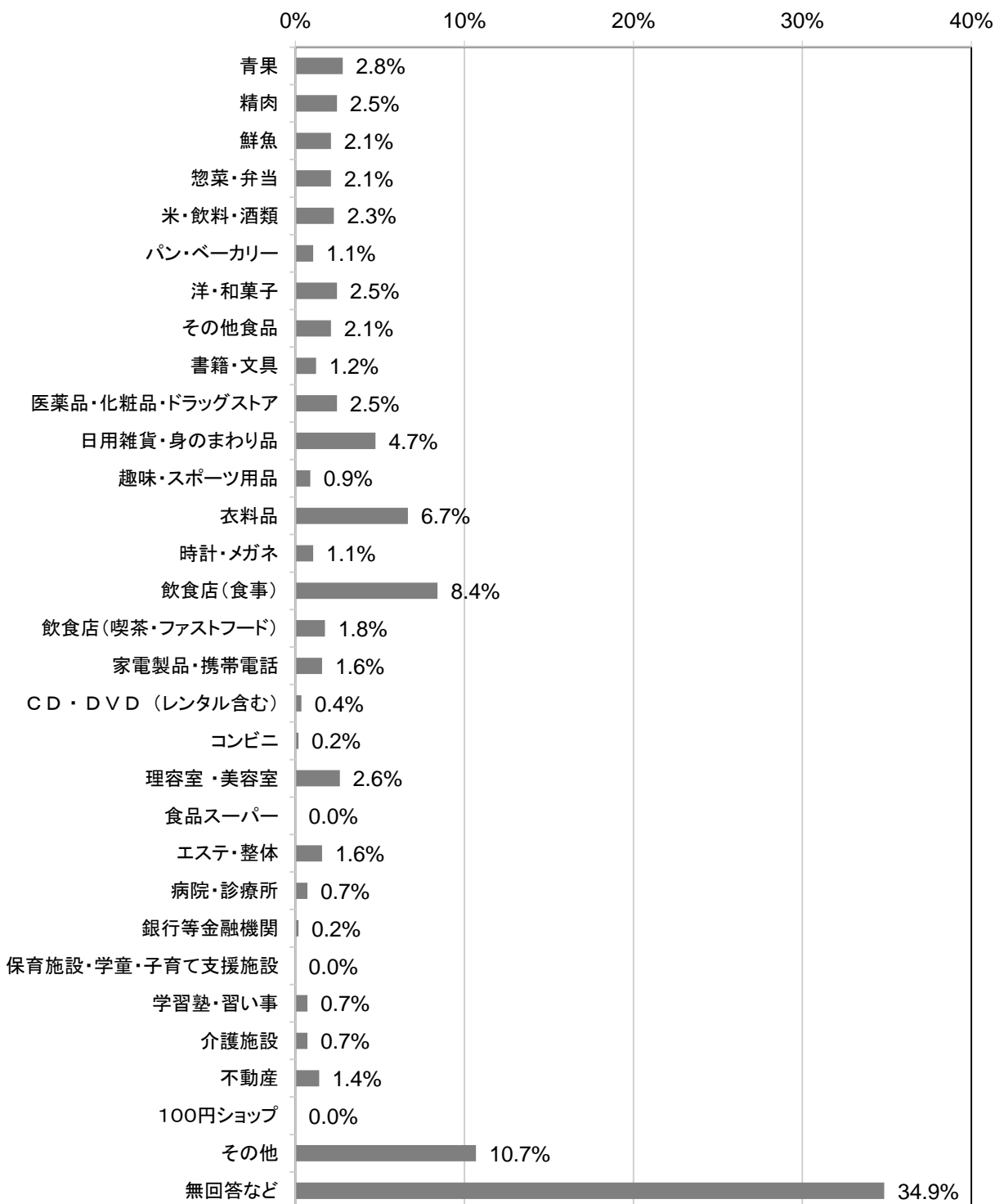


図表13 空き店舗の数[経年比較]

問 12 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

【閉店前の業種 全体】

「無回答など」を除いて「その他」が最も多く、10.7%であった。次いで「飲食店(食事)」(8.4%)、「衣料品」(6.7%)、「日曜雑貨・身のまわり品」(4.7%)の順となった。

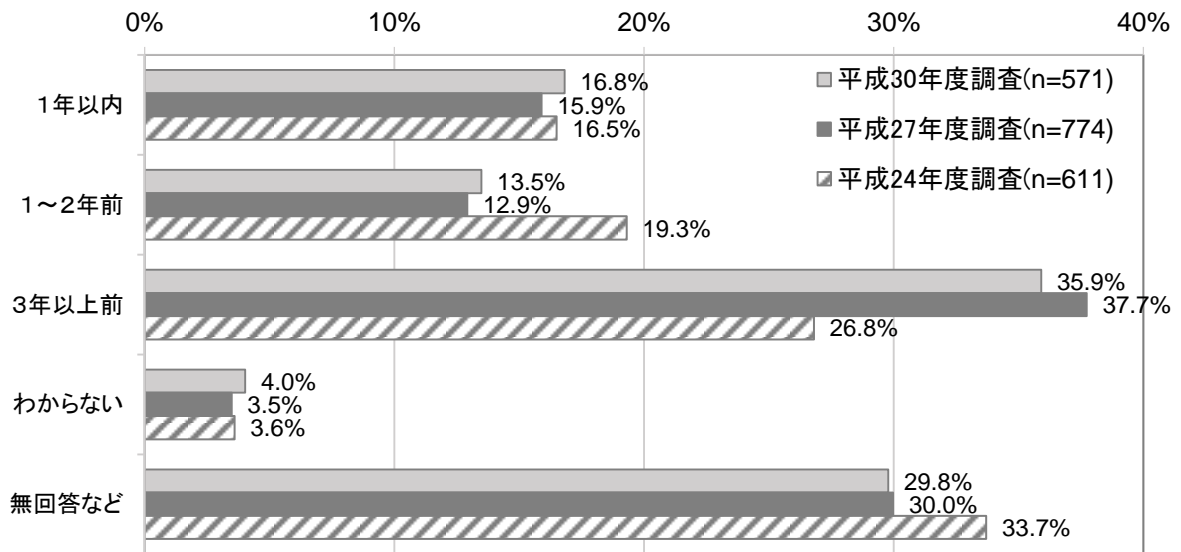


n=571

図表14-1 空き店舗の状況[閉店前の業種 全体]

【閉店時期 経年比較】

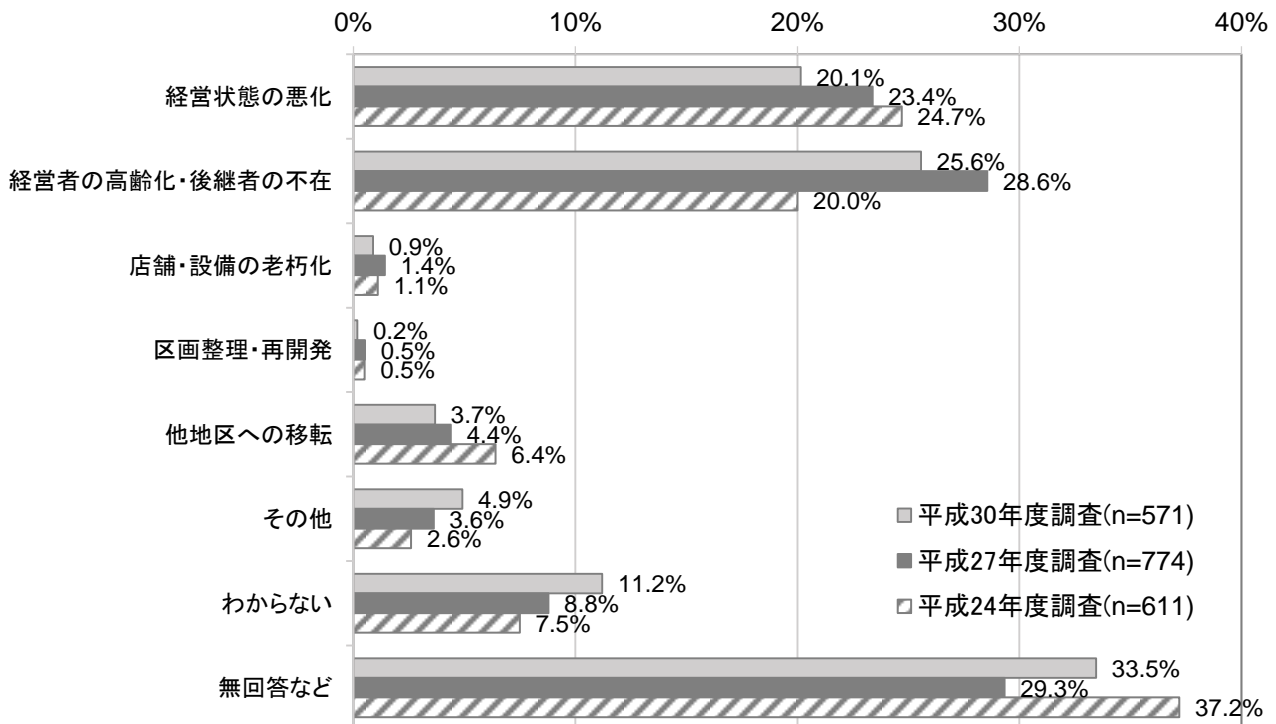
平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きく変わりはなく、「3年以上前」が最も多い。



図表14-2 空き店舗の状況[閉店時期 経年比較]

【閉店理由 経年比較】

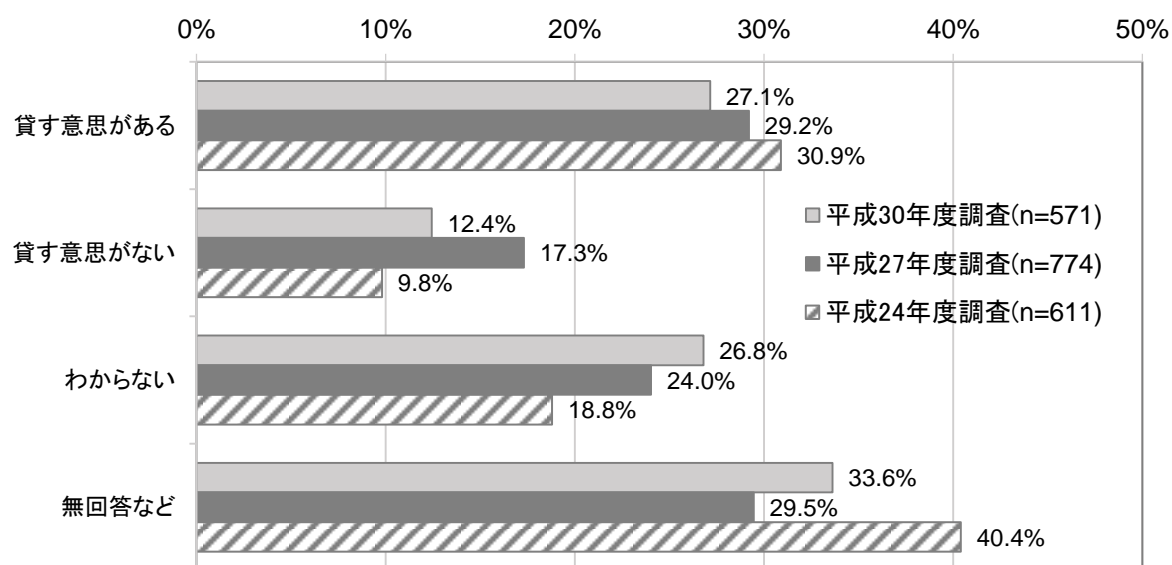
平成24年度調査、平成27年度調査と比較しても、傾向に大きく変わりはないが、「経営状態の悪化」が減少傾向にある。



図表14-3 空き店舗の状況[閉店理由 経年比較]

【家主の意思 経年比較】

平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、「貸す意思がある」が減少傾向、「わからない」が増加傾向にある。

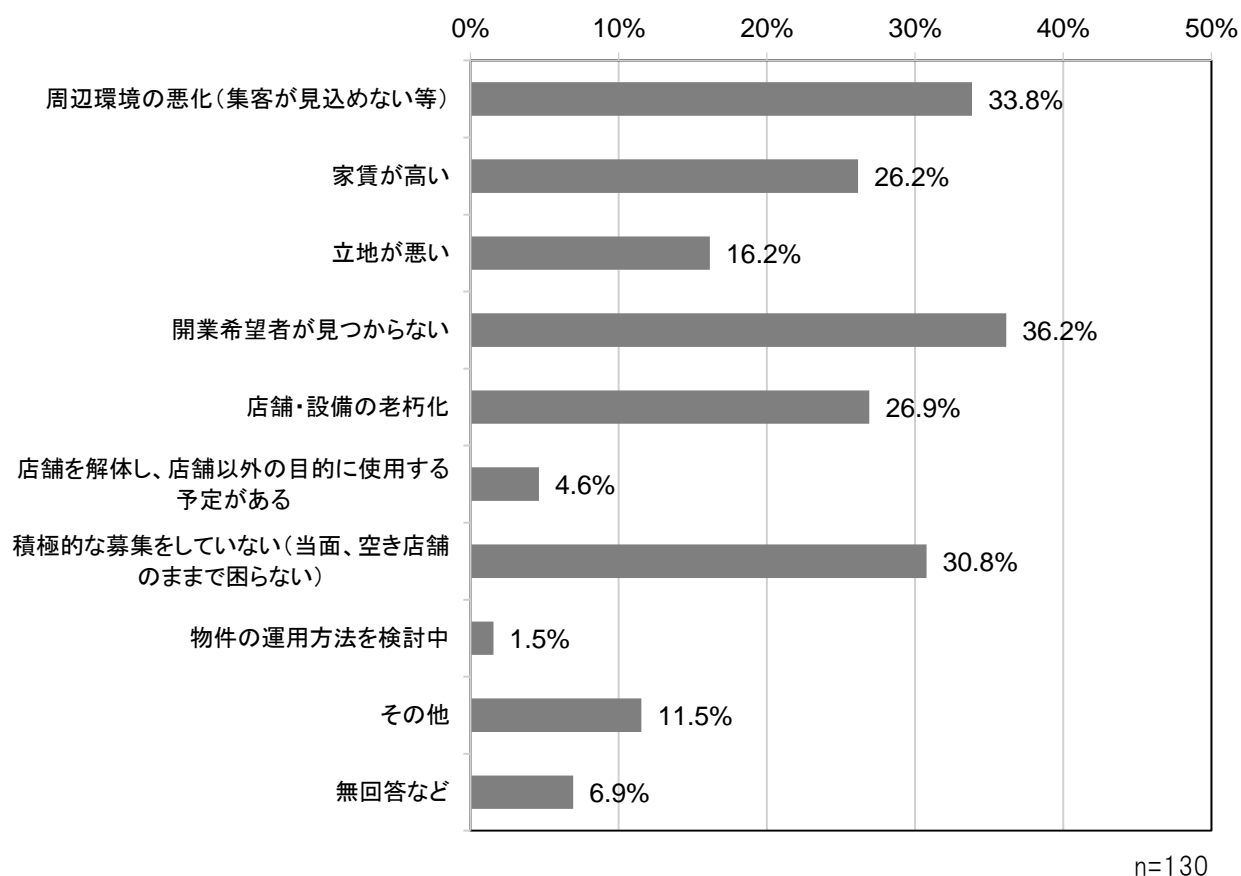


図表14-4 空き店舗の状況[家主の意思経年比較]

問 12-2 空き店舗がある場合、埋まらない理由として考えられるものを次の選択肢から選んでください。

【全体】

空き店舗が埋まらない理由として、「開業希望者が見つからない」が最も多く、36.2%であった。次いで「周辺環境の悪化(集客が見込めない等)」(33.8%)、「積極的な募集をしていない(当面、空き店舗のまま困らない)」(30.8%)の順となっている。



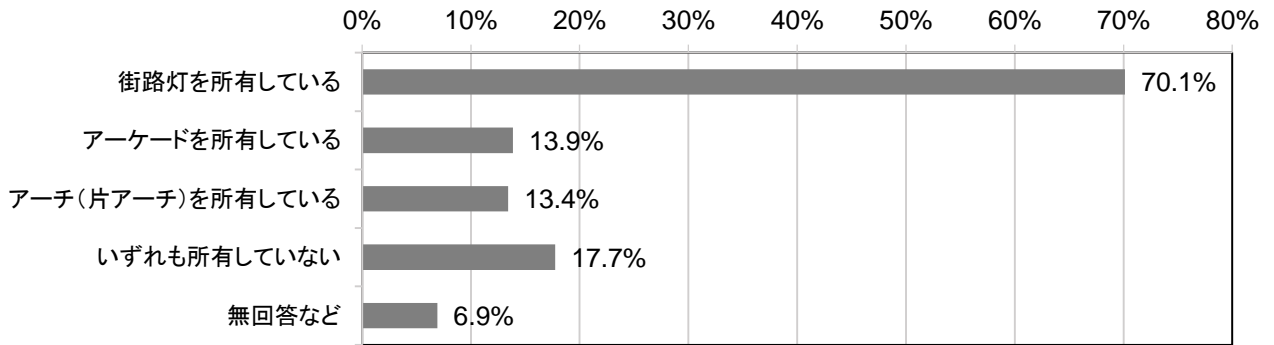
図表15 空き店舗の理由[全体]

(5) 商店街施設の保全・維持管理

問13 貴商店街では街路灯、アーケード、アーチ（片アーチ）を所有していますか。

【全体】

「街路灯を所有している」が最も多く、70.1%であった。



図表16-1 商店街設備の所有状況[全体]

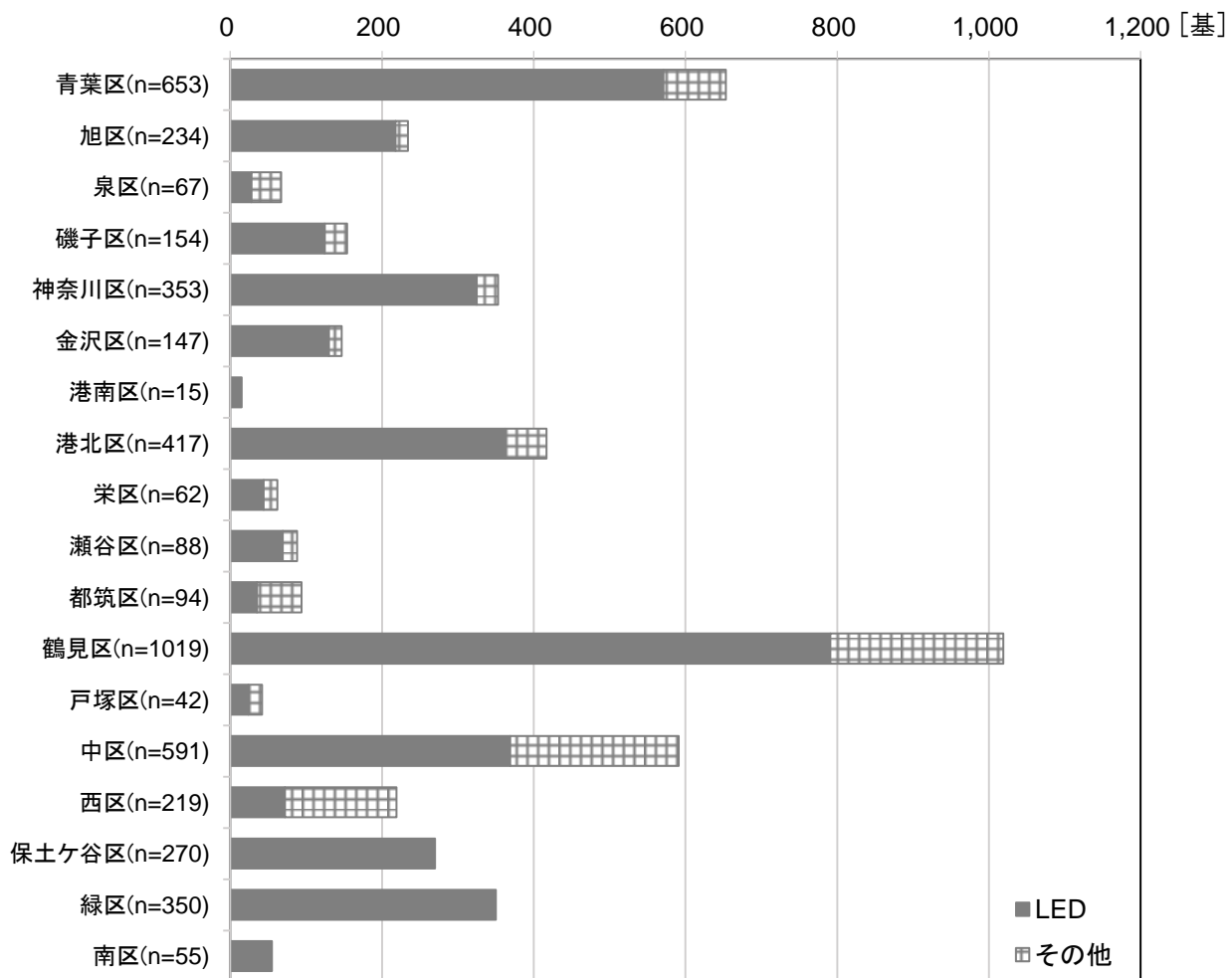
n=231

【区別の街路灯所有状況】

鶴見区が街路灯を最も多く所有(1,019基)しており、LED基数も最も多い(791基)。

	総数	LED	その他
全体	4,830	3,852	978
青葉区	653	571	82
旭区	234	218	16
泉区	67	28	39
磯子区	154	124	30
神奈川区	353	325	28
金沢区	147	130	17
港南区	15	15	0
港北区	417	362	55
栄区	62	44	18
瀬谷区	88	69	19
都筑区	94	35	59
鶴見区	1,019	791	228
戸塚区	42	24	18
中区	591	369	222
西区	219	72	147
保土ヶ谷区	270	270	0
緑区	350	350	0
南区	55	55	0

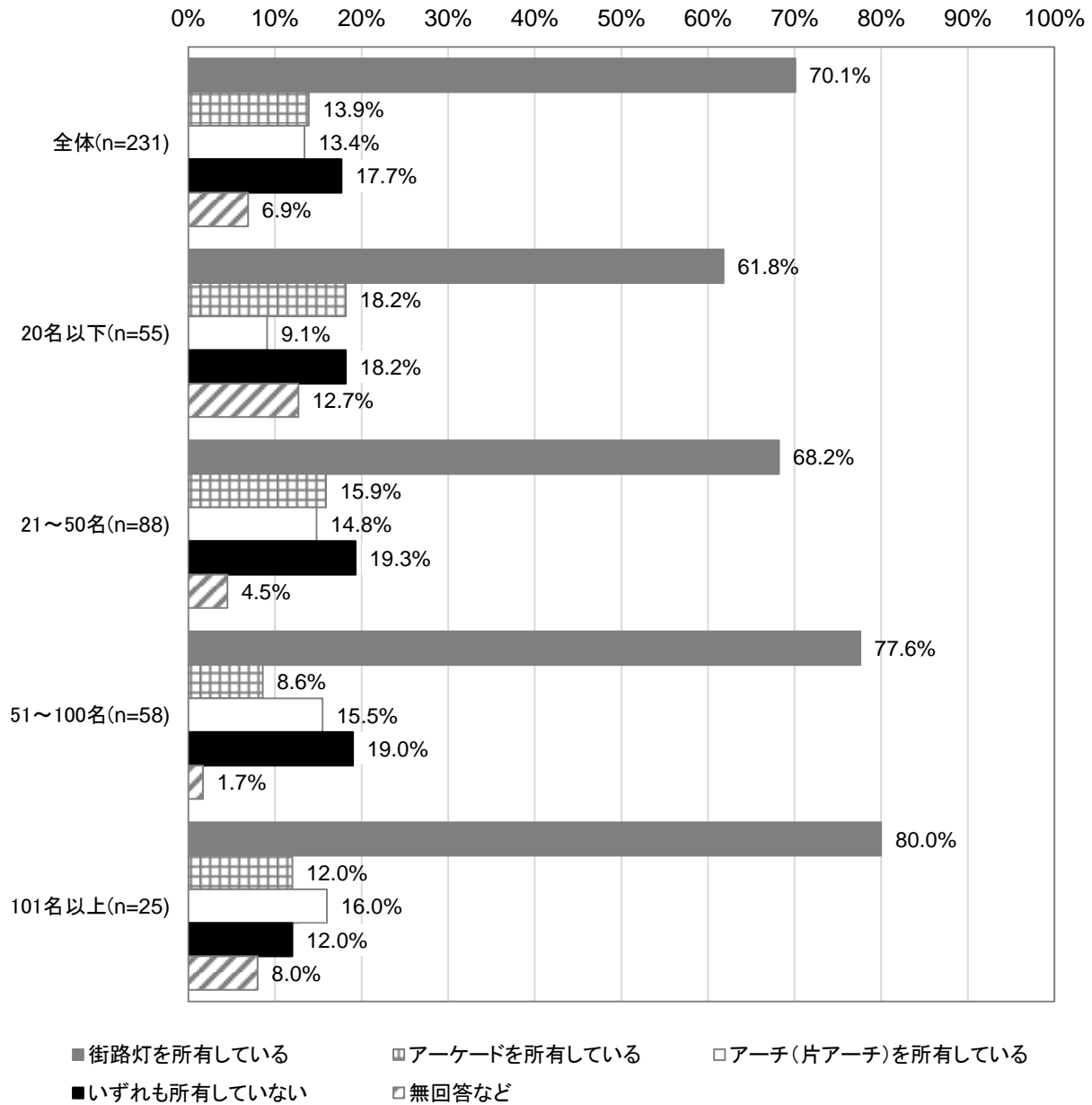
図表16-2 街路灯の所有状況[区別]



図表16-3 街路灯の所有状況[区別]

【会員数別】

会員数別にみると、「101名以上」は「街路灯を所有している」が最も多く、80.0%であった。また会員数が多いほど「街路灯を所有している」「アーチ(片アーチ)を所有している」の割合が高くなる傾向がみられた。

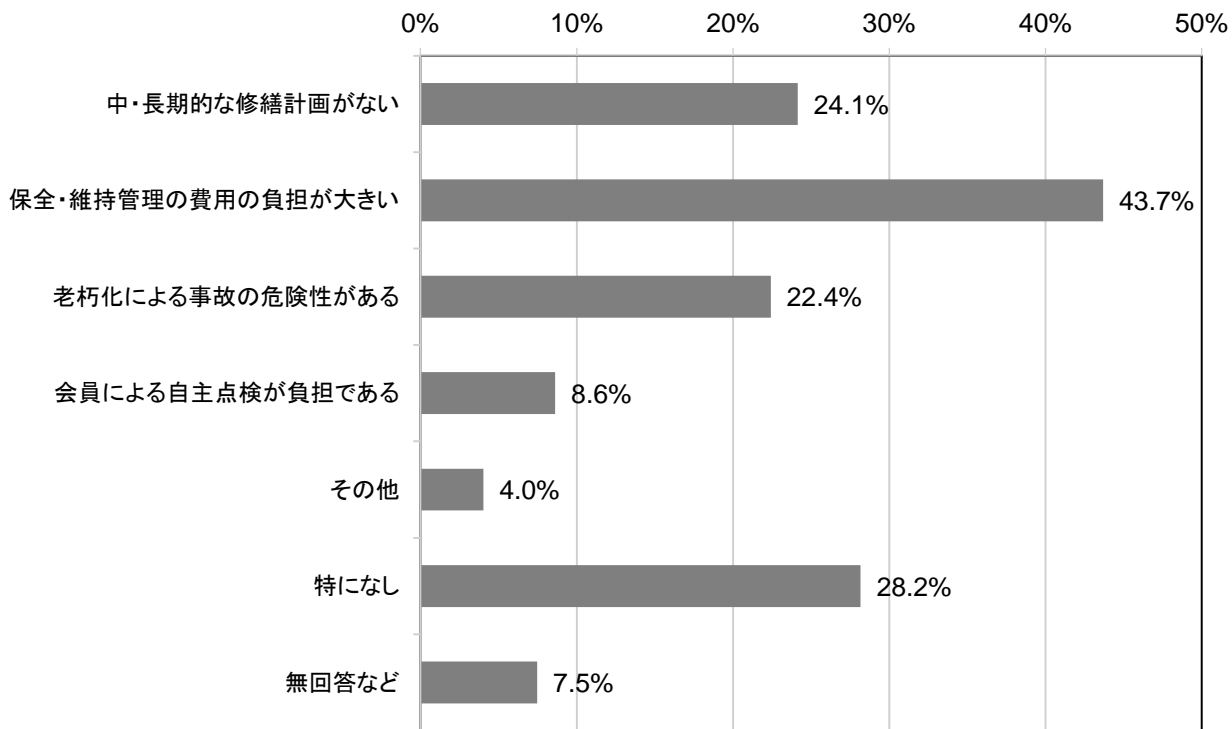


図表16-4 商店街設備の所有状況[会員数別]

問 13-2 問 13 の施設の保全・維持管理における課題は何ですか。

【全体】

「保全・維持管理の費用の負担が大きい」が最も多く、43.7%であった。次いで「特になし」(28.2%)、「中・長期的な修繕計画がない」(24.1%)の順となった。



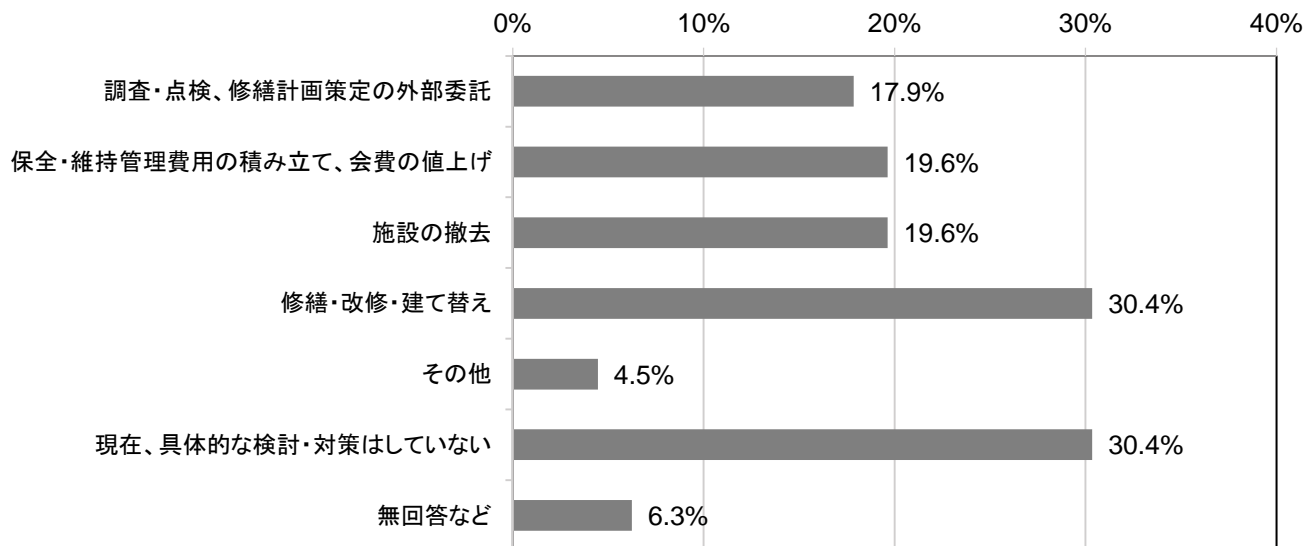
図表17 施設の保全・維持管理における問題点[全体]

n=174

問 13-3 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていることは何ですか。

【全体】

「修繕・改修・建て替え」と「現在、具体的な検討・対策はしていない」が最も多く、共に30.4%であった。



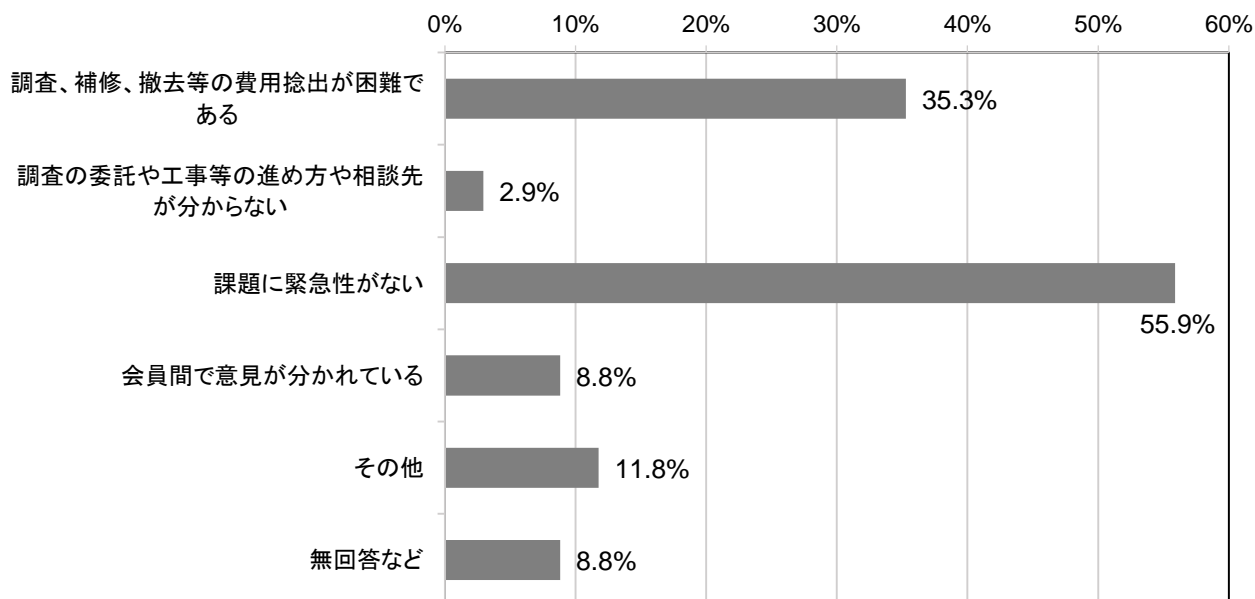
図表18 施設の保全・維持管理に関して検討していること [全体]

n=112

問 13-4 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていない理由は何ですか。

【全体】

「課題に緊急性がない」が55.9%で最も多く、次に「調査、補修、撤去等の費用捻出が困難である」(35.3%)が続いた。



図表19 施設の保全・維持管理の課題を検討・対策していない理由[全体]

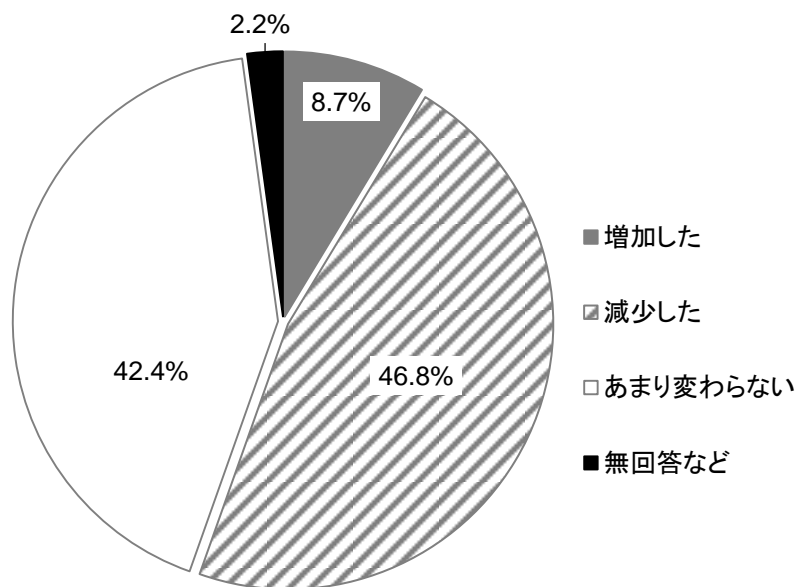
n=34

(6) 来街者数の状況

問 14 3年前と比べ、来街者数はどう変化したと感じられますか。

【全体】

「減少した」が46.8%で、「あまり変わらない」が42.4%であった。



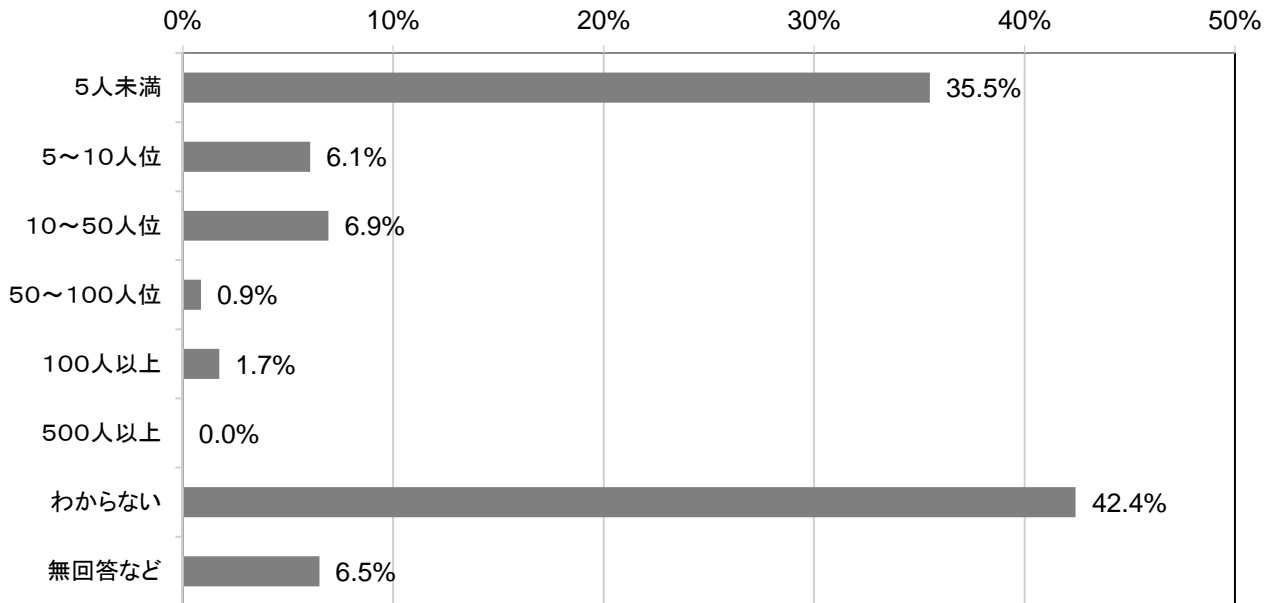
図表20 来街者数の変化 [全体]

n=231

問 15 現在、最も多いときで外国人観光客の来街者数は1日どのくらいですか。

【全体】

「わからない」が最も多く、42.4%であった。次いで「5人未満」が35.5%であった。



n=231

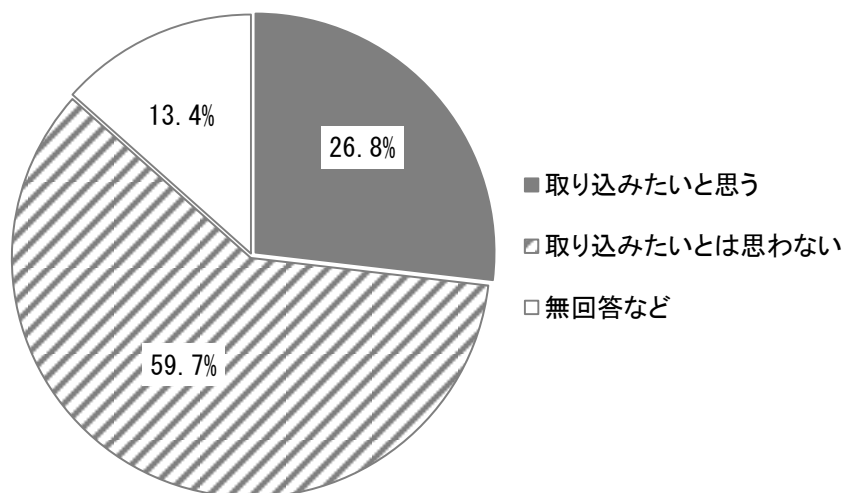
図表21 外国人観光客の来街者数 [全体]

(7) 外国人来街者への対応

問 16 外国人観光客を来街者として取り込みたいと思いますか。

【全体】

「取り込みたいとは思わない」が最も多く、59.7%であった。一方、外国人観光客の取り込みに前向きな商店街は26.8%となった。



n=231

図表22-1 外国人観光客の取り込み [全体]

【区別】

「取り込みたいと思う」と回答した商店街数は「中区」で最も多く、19商店街あった。

取り込みたいと思うと回答した商店街数			
全体：62			
青葉区	1	瀬谷区	0
旭区	2	都筑区	2
泉区	0	鶴見区	2
磯子区	2	戸塚区	4
神奈川区	6	中区	19
金沢区	3	西区	7
港南区	1	保土ヶ谷区	4
港北区	4	緑区	1
栄区	2	南区	2

図表22-2 外国人観光客の取り込み[区別]

【会員数別】

会員数別にみると、「取り込みたいと思う」と回答した商店街数は「21～50店舗」で最も多く、21商店街であった。

	取り込みたいと思うと回答した商店街数
1～20名	9
21～50名	21
51～100名	17
101名以上	13

図表22-3 外国人観光客の取り込み[会員数別]

【商店街タイプ別】

商店街タイプ別にみると、「取り込みたいと思う」と回答した商店街数は「地域型商店街」が最も多く、22商店街あった。

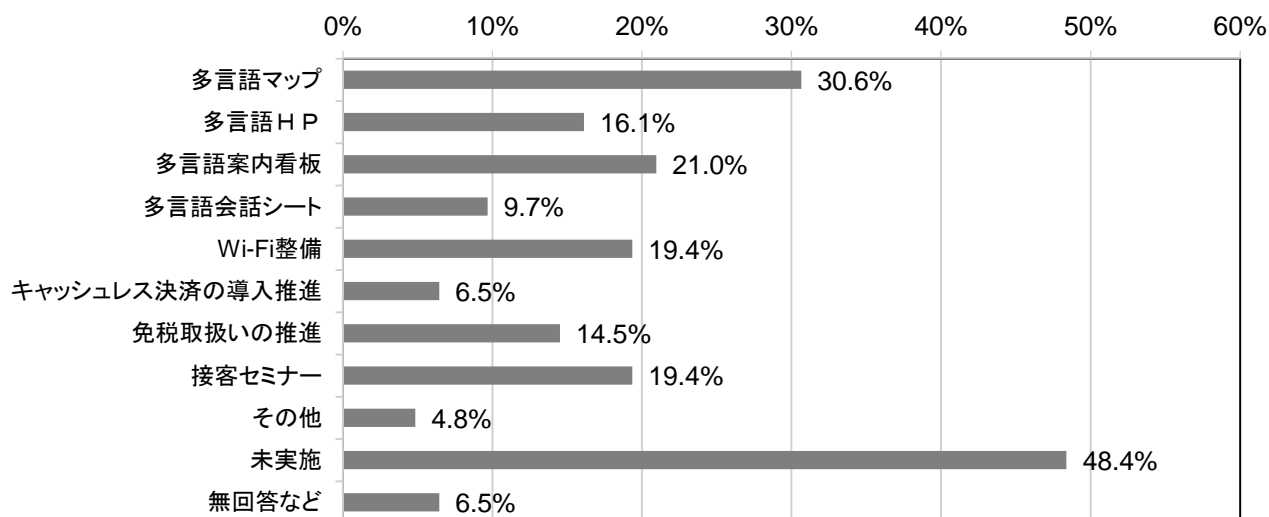
	取り込みたいと思うと回答した商店街数
近隣型商店街	21
地域型商店街	22
広域型商店街	8
超広域型商店街	1
その他の商業エリア等	4

図表22-4 外国人観光客の取り込み[商店街タイプ別]

問 16-2 貴商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策は何ですか。

【全体】

「未実施」が最も多く、48.4%であった。次いで「多言語マップ」(30.6%)、「多言語案内看板」(21.0%)
「Wi-Fi整備」「接客セミナー」(共に19.4%)の順となった。



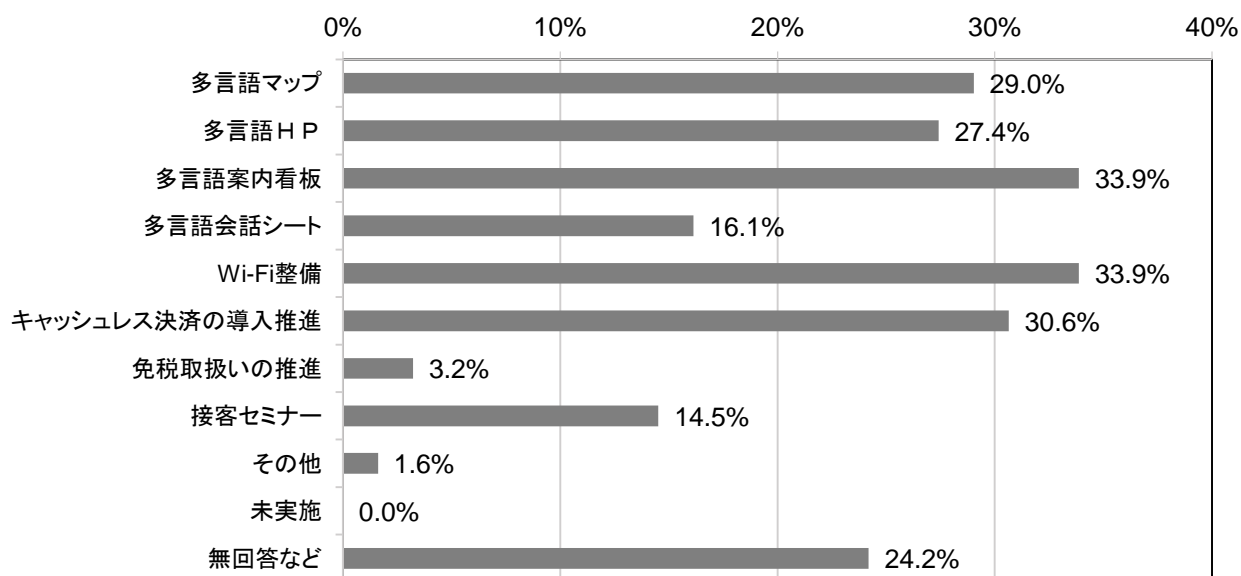
n=62

図表23 外国人観光客の取り込みへの施策[全体]

問 16-3 貴商店街が今後取り組みたい事業を上記問 16-2 の中から選び、() 内に番号をご記入下さい。

【全体】

「多言語案内看板」「Wi-Fi整備」が最も多く、共に33.9%であった。次いで「キャッシュレス決済の導入推進」(30.6%)、「多言語マップ」(29.0%)、「多言語HP」(27.4%)の順となった。



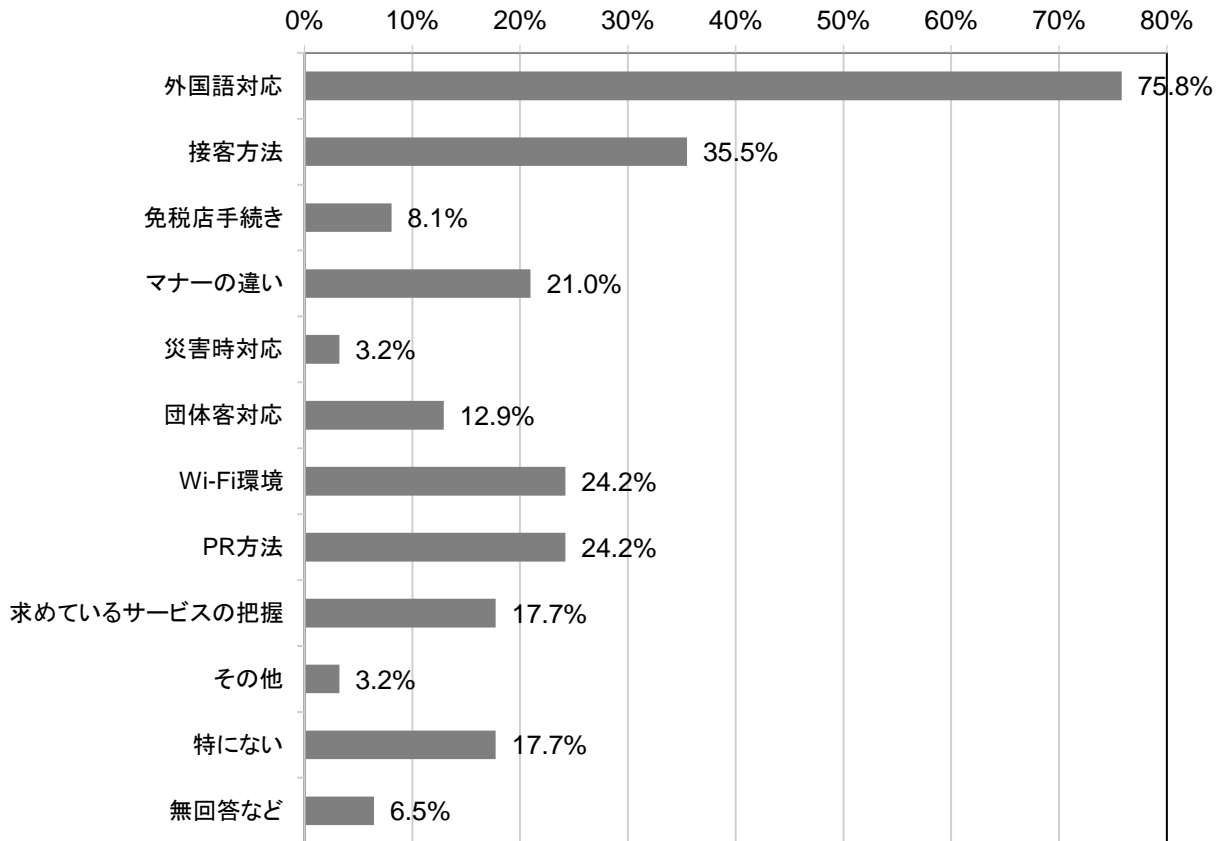
n=62

図表24 外国人観光客に対して今後取り組みたい事業[全体]

問 16-4 外国人観光客を取り込む場合、課題は何ですか。

【全体】

「外国語対応」が最も多く、75.8%であった。次いで「接客方法」(35.5%)、「Wi-Fi環境」「PR方法」(共に24.2%)の順となった。



n=62

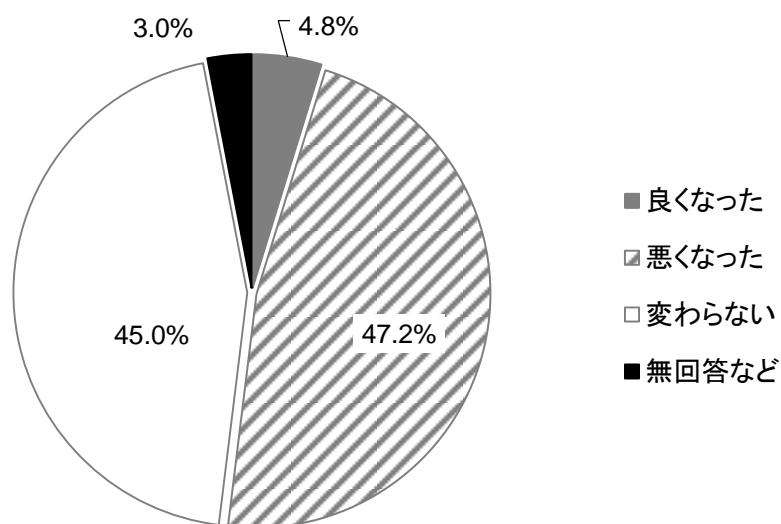
図表25 外国人観光客の取り込みへの課題[全体]

(8) 景況感

問 17 昨年と比較して現在の貴商店街の景気はどうなったと感じられますか。

【全体】

「悪くなった」が47.2%で、「変わらない」が45.0%であった。「良くなった」は4.8%であった。

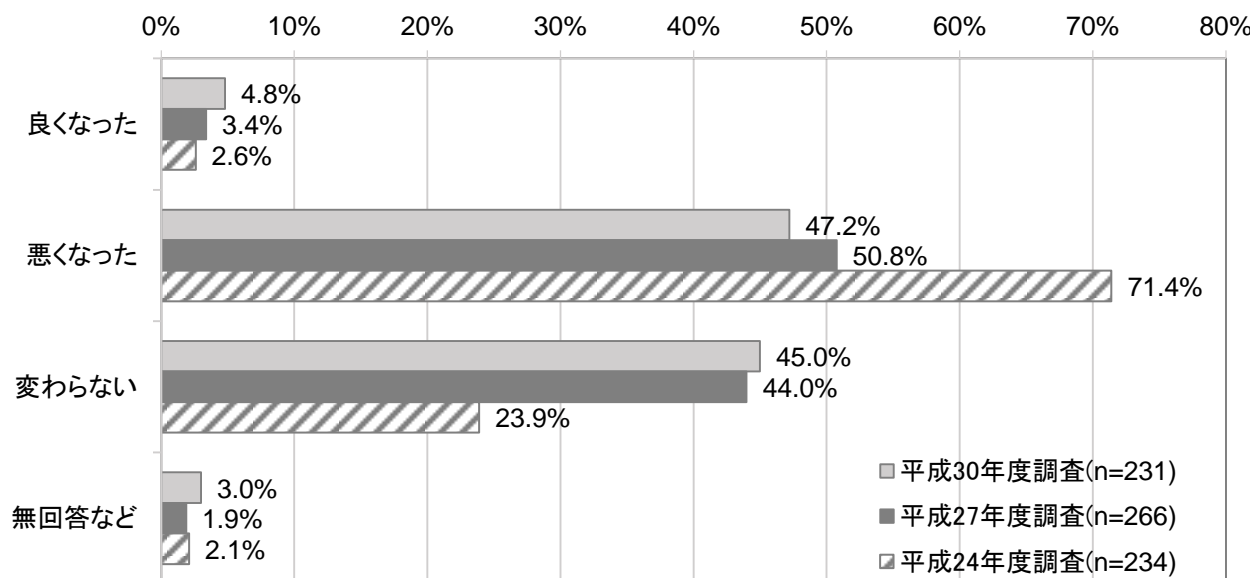


図表26-1 景況感[全体]

n=231

【経年比較】

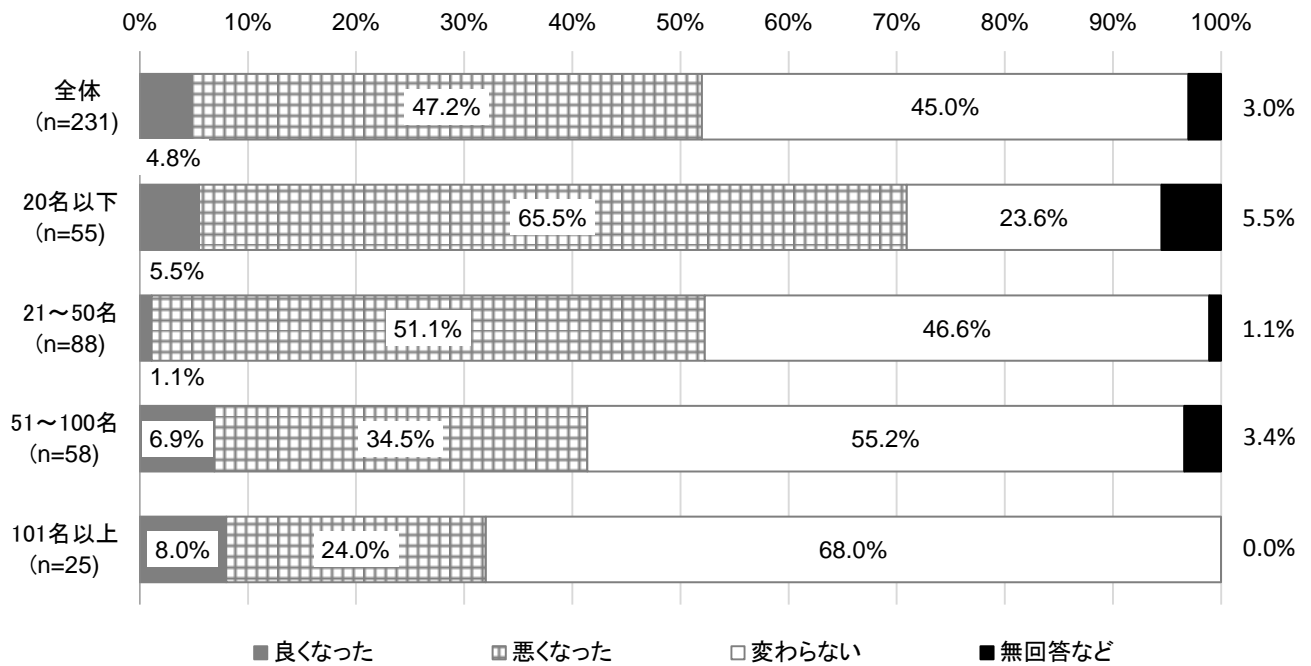
平成24年度調査、平成27年度調査と比較すると、傾向に大きく変わりはないが、「悪くなった」の割合は減少傾向にある。



図表26-2 景況感[経年比較]

【会員数別】

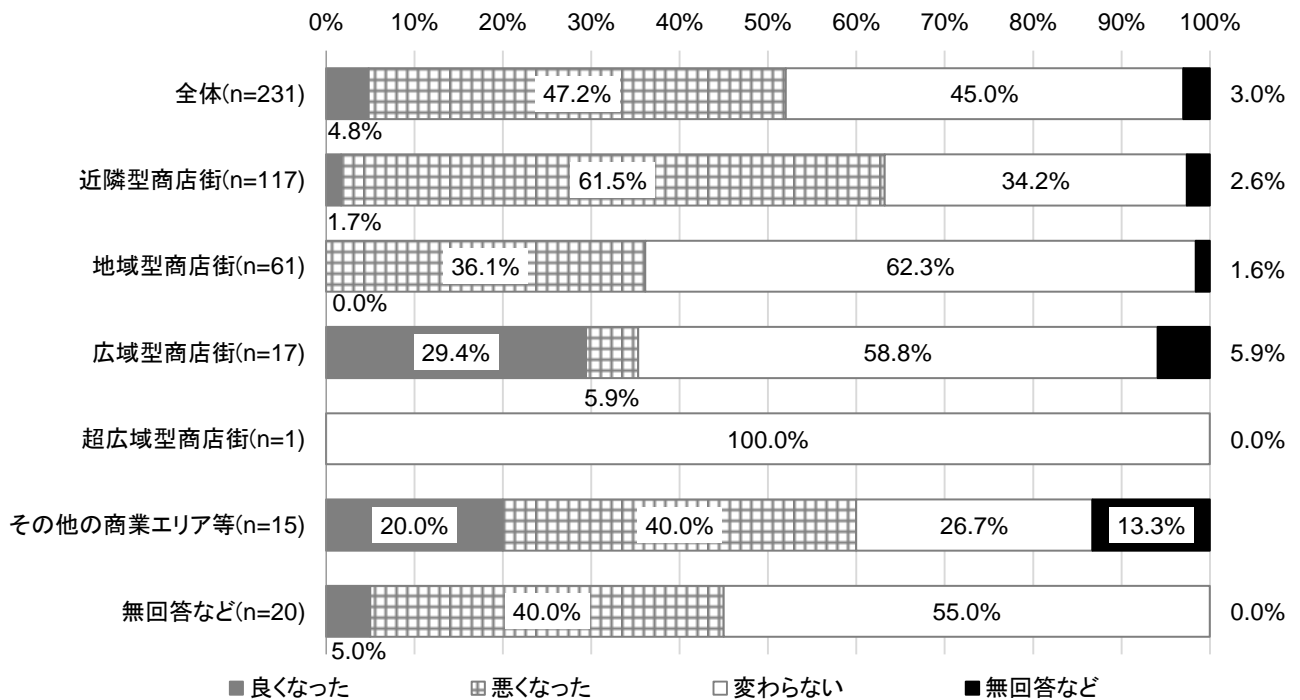
会員数別にみると、「20名以下」で「悪くなった」が最も多く、65.5%となっている。会員数が多くなるに従い、「悪くなった」の割合が減少していく傾向にある。



図表 26-3 景況感[会員数別]

【商店街タイプ別】

「悪くなった」は「近隣型商店街」が最も多く、61.5%であった。



図表26-4 景況感[商店街タイプ別]

參考資料

資料1 調査票

資料1 調査票

平成30年度 横浜市商店街実態調査 調査票

- ※ ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて 11月8日(木)までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。
- ※ 調査票の記入事項につきましては、秘密を厳守して商店街振興施策目的以外には使用いたしません。是非、ご協力をお願いいたします。

はじめに、貴商店街の名称、ご連絡先等をご記入ください。

- 商店街名 (_____)
- 商店街所在地 (_____)
- ご回答者役職・氏名 (_____)
- 連絡先電話番号 (_____)

問1 貴商店街のタイプは次の5つのうち、いずれに該当しますか。(○は1つだけ)

1. 近隣型商店街 : 主に近隣住民が徒歩、自転車で来街して日常の買い物をする商店街
2. 地域型商店街 : 鉄道駅に近接し、主に区内の住民が徒歩、自転車、バス等で来街して日常の買い物をする商店街
3. 広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、百貨店、量販店等を含む大型店があり、主に電車や自動車による区内外からの来街者が多い商店街
4. 超広域型商店街 : 鉄道駅に近接し、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、市外も含む遠距離からの来街者が多い商店街
5. その他の商業エリア等 : 上記1～4にあてはまらない商業エリア、複数の要素を持つ商業エリア等
(問2以下の項目は可能な範囲でご回答をお願いします。)

問2 貴商店街の組織形態は次の5つのうち、いずれに該当しますか。(○は1つだけ)

1. 振興組合 2. 協同組合 3. 一般社団法人 4. 任意団体 5. わからない

問3 貴商店街の会員数は何名ですか。

正会員 (_____) 名 / 準・賛助会員 (_____) 名 / その他 (_____) 名

問3-2 3年前と比べて、商店街への加盟率に変化がありましたか。(○は1つだけ)

1. 増加した 2. 減少した 3. 変わらない

問4 貴商店街に加盟していない店舗の状況をご記入ください。

大型店 () 店舗 / チェーン店 () 店舗 / その他 () 店舗
--

- ※ 大 型 店 : 小売業を行うために用いられる床面積の合計が 1,000 平方メートルを超える大型店
 チェーン店 : 大型店以外のレギュラーチェーン (直営店)、フランチャイズチェーン
 そ の 他 : 大型店、チェーン店以外の個人営業等

問5 貴商店街ではどのような加盟勧誘活動を行っていますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 開店時や定期的な訪問による積極的な勧誘	2. イベントを活用した呼びかけ
3. チラシ・パンフ配付等によるPR活動	4. オーナーや不動産会社との協力
5. その他 ()	

問5-2 加盟勧誘活動の課題があればご記入ください。

()

問6 現在、貴商店街を構成する店舗の数を業種・業態毎にご記入ください。

業種・業態	店舗数	業種・業態	店舗数	業種・業態	店舗数
1. 青果		2. 精肉		3. 鮮魚	
4. 惣菜・弁当		5. 米・飲料・酒類		6. パン・ベーカリー	
7. 洋・和菓子		8. その他食品		9. 書籍・文具	
10. 医薬品・化粧品 ドラッグストア		11. 日用雑貨 身のまわり品		12. 趣味 スポーツ用品	
13. 衣料品		14. 時計・メガネ		15. 飲食店 (食事)	
16. 飲食店 (喫茶・ ファストフード)		17. 家電製品 携帯電話		18. C D ・ D V D (レンタル含む)	
19. コンビニ		20. 理容室・美容室		21. 食品スーパー	
22. エステ・整体		23. 病院・診療所		24. 銀行等金融機関	
25. 保育施設・学童 子育て支援施設		26. 学習塾・習い事		27. 介護施設	
28. 不動産		29. 100円ショップ		30. その他	

問7 現在、貴商店街に不足していると感じている業種・業態は何ですか。

上記問6の中から選び、() 内に番号をご記入ください。(3つまで選択)

- ※問6の選択肢以外の業種・業態が不足している場合にはその業種・業態をご記入ください。
 不足している業種・業態がない、わからない場合にはそのどちらかに○をつけてください。

() () () / 不足はない / わからない

問8 貴商店街の活動内容はどのようなものですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 中元・歳末期セール(福引等)	2. セール(中元・歳末期以外)
3. ポイントカード・スタンプの発行	4. 駐車場・駐輪場の運営
5. 共同店舗の運営	6. 宅配サービスの実施
7. 出張販売の実施	8. 送迎サービスの実施
9. 商店街ホームページの開設・運営	10. 商店街マップの発行
11. 瓦版など広報物の発行	12. 地域交流イベントの開催(祭り等)
13. 地域(自治会・NPO等)や学校との連携事業	14. 商店街女性部・青年部の組織化
15. 商店街会員による勉強会開催	16. 防犯・防災活動
17. 街路灯・アーケード等商業基盤施設の維持管理	18. 緑化・清掃活動など環境に関する取組
19. 電子マネー・クレジットカード等キャッシュレス決済の取扱い	20. まちゼミの実施
21. その他()	22. ほとんど活動はしていない

問8-2 貴商店街が今後取り組みたいと考えている活動を上記問8の中から
 選び、()内に番号をご記入ください。(3つまで選択)
 また、その活動の検討状況について○をつけてください。

()	→	1. 実施に向けて検討している	/	2. 具体的な検討に至っていない
()	→	1. 実施に向けて検討している	/	2. 具体的な検討に至っていない
()	→	1. 実施に向けて検討している	/	2. 具体的な検討に至っていない

問9 最近3年で、商店街活動に積極的に参加する会員は増えましたか。
 (○は1つだけ)

1. 増えた	2. 減った	3. 変わらない
--------	--------	----------

上記回答を選択した要因や具体的状況をご記入ください。

[]

問10 現在、貴商店街ではどのような悩みがありますか。(○は3つまで)

1. 売上・来街者の減少	2. 店舗の老朽化
3. 空き店舗・空き地の増加	4. 街路灯・アーケード等の商業基盤施設の老朽化
5. 魅力ある店舗の不足	6. 業種のバランスが悪い
7. 駐車場や駐輪場の不足	8. 放置自転車の対策
9. 魅力あるイベントの不足	10. 経営者の高齢化
11. 後継者の不在	12. 経営者の意欲低下
13. 未加入店舗の増加	14. 会費収入の減少・滞納の増加
15. 会員の商店街活動に対する意欲の低下・退会者の増加	
16. 商店街活動を担う人材の不足	
17. その他(具体的に)	

問10-2 問10の悩み解決に向けて、充実してほしい支援策があればご記入ください。

()

問11 貴商店街における空き店舗*は何店舗ですか。(ない場合は0(ゼロ)を記入)

() 店舗

※空き店舗とは… 商店街の主要な通りの建物の1階、2階部分(商業用ビル等、多階層にわたって商店街エリアが広がっている場合は、建物の1階、2階には限らない)に位置し、以前店舗として利用された建物で、廃業・移転等により現在は空き店舗となっているもの。
上記のうち、駐車場・一般住宅・空き地になった場合は除く。(次の利用者が現れるまで暫定的に車庫や物置等として使用しているものは含む。)

問12 空き店舗がある場合、各空き店舗の状況についてご記入ください。

	ア) 閉店前の業種 問6の選択肢から該当するものを1つ選び、番号をご記入ください。	イ) 空き店舗となった時期 1. 1年以内 2. 1~2年前 3. 3年以上前 4. わからない	ウ) 閉店の理由 下の欄外の選択肢から該当するものを1つ選び番号をご記入ください。 ※「その他」の場合は具体的内容をご記入ください。	エ) 家主の意思 1. 貸す意思がある 2. 貸す意思がない 3. わからない
①空き店舗 () 階				
②空き店舗 () 階				
③空き店舗 () 階				
④空き店舗 () 階				
⑤空き店舗 () 階				
⑥空き店舗 () 階				
⑦空き店舗 () 階				
⑧空き店舗 () 階				
⑨空き店舗 () 階				
⑩空き店舗 () 階				



- | |
|---|
| 1. 経営状態の悪化(売上の減少・大型店との競争激化・家賃負担が大きい等)
2. 経営者の高齢化・後継者の不在 3. 店舗・設備の老朽化
4. 区画整理・再開発 5. 他地区への移転 6. その他 7. わからない |
|---|

問 13-4 施設の保全・維持管理の課題について、検討・対策をしていない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 調査、補修、撤去等の費用捻出が困難である。 |
| 2. 調査の委託や工事等の進め方や相談先が分からない。 |
| 3. 課題に緊急性がない。 |
| 4. 会員間で意見が分かれている。 |
| 5. その他 () |

問 14 3年前と比べ、来街者数はどう変化したと感じられますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 1. 増加した | 2. 減少した | 3. あまり変わらない |
|---------|---------|-------------|

問 15 現在、最も多いときに外国人観光客の来街者数は1日どのくらいですか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-------------|
| 1. 5人未満 | 2. 5～10人位 | 3. 10～50人位 | 4. 50～100人位 |
| 5. 100人以上 | 6. 500人以上 | 7. わからない | |

問 16 外国人観光客を来街者として取り込みたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 取り込みたいと思う→問 16-2へ | 2. 取り込みたいとは思わない→問 17へ |
|----------------------|-----------------------|

問 16-2 貴商店街が現在実施している外国人観光客取り込み策は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|-------------|-------------------|-------------|-------------|
| 1. 多言語マップ | 2. 多言語HP | 3. 多言語案内看板 | 4. 多言語会話シート |
| 5. Wi-Fi 整備 | 6. キャッシュレス決済の導入推進 | 7. 免税取扱いの推進 | |
| 8. 接客セミナー | 9. その他 () | 10. 未実施 | |

問 16-3 貴商店街が今後取り組みたい事業を上記問 16-2の中から選び、()内に番号をご記入ください。(3つまで選択)

()・()・()

問 16-4 外国人観光客を取り込む場合、課題は何ですか。(○は3つまで)

- | | | | | |
|-------------|-------------|-----------|-----------------|----------|
| 1. 外国語対応 | 2. 接客方法 | 3. 免税店手続き | 4. マナーの違い | 5. 災害時対応 |
| 6. 団体客対応 | 7. Wi-Fi 環境 | 8. PR 方法 | 9. 求めているサービスの把握 | |
| 10. その他 () | | | | 11. 特にない |

問 17 昨年と比較して現在の貴商店街の景気は怎么样了と感じられますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 良くなった | 2. 悪くなった | 3. 変わらない |
|----------|----------|----------|

問 18 貴商店街の特徴的な取組や来街者に人気の高い事業がございましたらご教示ください。
また、横浜市へのご意見などございましたらあわせてご記入ください。



《質問は以上です。ご協力ありがとうございました。》

平成30年度商店街実態調査
報告書
(概要版)

平成31年3月発行

横浜市 経済局

横浜市中区港町1-1

TEL 045-671-3488 FAX045-664-9533
